

景気動向調査結果

(令和3年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 3 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 3 年 5 月に電話等によるヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、453 社（製造業 244 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 209 社）で、回答率は 64.7 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和3年4月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられます。

製造業の業況は、一部に新型コロナウイルス感染症による影響がみられるものの、海外経済の改善もあって、一般機械、電機・電子を中心に受注、生産に回復の動きがみられ、11期ぶりのプラス水準となりました。

非製造業の業況は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、大幅に悪化した前年よりも改善し、全体ではプラス水準となりました。なお、一部に弱さが残っているものの、持ち直しの動きがみられます。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和2年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は20.6となり、前回調査時（令和3年1月）の△29.3から49.9ポイント改善しました。

3か月前（令和3年1月）と比較したD Iは28.9となり、前回調査時の10.2より18.7ポイント改善し、3期連続のプラス水準となりました。

また、3か月後（令和3年7月）の予想では、D Iは3.4となり、12期ぶりのプラス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、テレワーク向け需要の増加により、受注、生産に回復の動きがみられます。プリンターは、国内外におけるテレワーク需要の増加により、受注、生産は堅調に推移しています。半導体関連は、国内外の半導体需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が順調に推移しています。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が回復しています。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体市場の活況により、半導体関連向けで受注、生産に回復の動きがみられます。自動車関連では、中国など海外向けを中心に、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。建設機械は、国内向けでは、公共工事向け需要の伸び悩みなどから、受注、生産に一服感がみられます。北米や欧州など海外向けでは、需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷などから、受注、生産が横ばいに推移しています。レンズは、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連向けで堅調に推移しています。圧力計は、産業機械向けで設備投資に慎重な動きもみられるものの、半導体関連向けを中心に、受注、生産に回復の動きがみられます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、一部で半導体不足による減産の影響がみられるものの、海外向けを中心に、受注、生産が堅調に推移しています。

オ 食料品では、味そは、外出自粛による家庭用需要の増加や季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、清酒やワインは、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は外出自粛による家庭用需要の増加や季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

(2) 受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が 53.1%と前回 (26.1%) より大幅に増加し、「減少」とする企業が 17.8%と前回 (49.6%) より大幅に減少した結果、D I は前回 ($\Delta 23.5$) より大幅に改善し、35.3 となりました。

3 か月前との比較では、「増加」とする企業が 49.4%と前回 (32.8%) より増加し、「減少」とする企業が 11.2%と前回 (26.8%) より減少した結果、D I は前回 (6.0) より大幅に改善し、38.2 となりました。

3 か月後の予想については、「増加」とする企業が 20.9%、「減少」とする企業が 15.3%となった結果、D I は 5.6 となりました。

(3) 生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が 50.0%と前回 (24.1%) より大幅に増加し、「減少」とする企業が 20.7%と前回 (51.5%) より大幅に減少した結果、D I は前回 ($\Delta 27.4$) より大幅に改善し、29.3 となりました。

3 か月前との比較では、「増加」とする企業が 51.5%と前回 (33.3%) より増加し、「減少」とする企業が 13.7%と前回 (26.9%) より減少した結果、D I は前回 (6.4) より大幅に改善し、37.8 となりました。

3 か月後の予想については、「増加」とする企業が 21.4%、「減少」とする企業が 17.9%となった結果、D I は 3.5 となりました。

(4) 製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が 10.8%と前回 (10.2%) よりやや増加し、「安い」とする企業が 10.8%と前回 (13.6%) より減少した結果、D I は前回 ($\Delta 3.4$) より改善し、0.0 となりました。

3 か月前との比較では、「高い」とする企業が 6.2%と前回 (3.8%) より増加し、「安い」とする企業が 4.6%と前回 (4.3%) よりやや増加した結果、D I は前回 ($\Delta 0.5$) より改善し、1.6 となりました。

3 か月後の予想については、「高い」とする企業が 5.1%、「安い」とする企業が 3.4%となった結果、D I は 1.7 となりました。

(5) 資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が 19.3%と前回 (11.4%) より増加し、「苦しい」とする企業が 9.4%と前回 (19.7%) より減少した結果、D I は前回 ($\Delta 8.3$) より改善し、9.9 となりました。

3 か月前との比較では、「らく」とする企業が 11.6%と前回 (8.8%) より増加し、「苦しい」とする企業が 6.0%と前回 (12.3%) より減少した結果、D I は前回 ($\Delta 3.5$) より改善し、5.6 となりました。

3 か月後の予想については、「らく」とする企業が 6.6%、「苦しい」とする企業が 10.5%となった結果、D I は $\Delta 3.9$ となりました。

(6) 収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が 32.2%と前回 (23.2%) より増加し、「低下」とする企業が 25.6%と前回 (40.9%) より減少した結果、D I は前回 ($\Delta 17.7$) より改善し、6.6 となりました。

3 か月前との比較では、「上昇」とする企業が 27.4%と前回 (15.3%) より増加し、「低下」とする企業が 17.8%と前回 (23.3%) より減少した結果、D I は前回 ($\Delta 8.0$) より改善し、9.6 となりました。

3 か月後の予想については、「上昇」とする企業が 10.5%、「低下」とする企業が 19.4%となった結果、D I は $\Delta 8.9$ となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、テレワーク向け需要の増加により、受注、生産に回復の動きがみられます。

プリンターは、国内外におけるテレワーク需要の増加により、受注、生産は堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 国内外の半導体需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで受注、生産が順調に推移しています。

(抵抗器・コンデンサ等) 国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が回復しています。

(モーター等) 航空機向けでは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少により受注、生産が弱含んでいるものの、海外向けを中心に、産業用途、自動車関連向けで受注、生産が堅調に推移しています。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の増加などにより、受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体市場の活況により、半導体関連向けで受注、生産に回復の動きがみられます。自動車関連では、中国など海外向けを中心に、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(金 型) 国内需要の減少などにより受注、生産が弱含んでいるものの、海外向けの自動車関連で持ち直しの動きがみられます。

(建設機械) 国内向けでは、公共工事向け需要の伸び悩みなどから、受注、生産に一服感がみられます。北米や欧州など海外向けでは、需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(農業用機械等) 一部に新型コロナウイルス感染症による影響がみられるものの、国内需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。

精 密

(時 計)

腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷などから、受注、生産が横ばいに推移しています。

(レ ン ズ)

レンズは、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連向けで堅調に推移しています。

(計 器)

圧力計は、産業機械向けで設備投資に慎重な動きもみられるものの、半導体関連向けを中心に、受注、生産に回復の動きがみられます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

自 動 車 部 品

自動車部品では、一部で半導体不足による減産の影響がみられるものの、海外向けを中心に、受注、生産が堅調に推移しています。

食 料 品

(味 そ)

外出自粛による家庭用需要の増加や季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。

(酒 類)

清酒やワインは、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

外出自粛による家庭用需要の増加や季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

織 維 ・ 衣 服

季節的要因により、受注、生産が増加しているものの、外出自粛による需要の減少により弱含んでいます。

紙 ・ パ ル プ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで持ち直しの動きがみられるものの、受注、生産が弱含んでいます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和2年4月）と比較したD Iは8.2となり、前回調査時（令和3年1月）の△54.8より63.0ポイント改善し、景気動向調査の開始以来初めてのプラス水準となりました。

3か月前（令和3年1月）と比較したD Iは△2.9となり、前回調査時の△56.4より53.5ポイント改善しました。

また、3か月後（令和3年7月）の予想では、D Iは△18.1となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、公共工事の工事量は例年並みの水準ですが、厳しい受注競争が続いているほか、民間工事は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業の設備投資に慎重な姿勢がみられ、売上高D Iが悪化したことから、業況D Iは△3.3と前回（3.1）より悪化し、2期ぶりのマイナス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、△24.1です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、企業のシステム投資は鈍い動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症の影響で受注が低調だった前年より受注件数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは0.0と前回（△27.3）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染防止に伴う巣ごもり需要などから食料品が堅調だったほか、前年の休業や外出自粛などによる反動増もあり、客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは0.9とプラス水準になり、前回（△63.1）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△26.8です。

エ 卸売業

卸売業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光、外食関連向け食品卸の需要は減少したものの、医療関連向けなどの需要が増加し、客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは11.1と前回（△19.1）より改善し、平成30年7月期以来のプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、△22.2です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染防止対策の継続などにより、観光、法人の利用が減少しているものの、全国的に緊急事態宣言が発令された前年よりも客数が増加し、客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは29.2と前回（△100.0）より改善し、5期ぶりのプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、客数は例年の水準には届かないものの、全国的に緊急事態宣言が発令された前年よりも宿泊客が増加し、客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは57.1と前回（△100.0）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、35.7です。

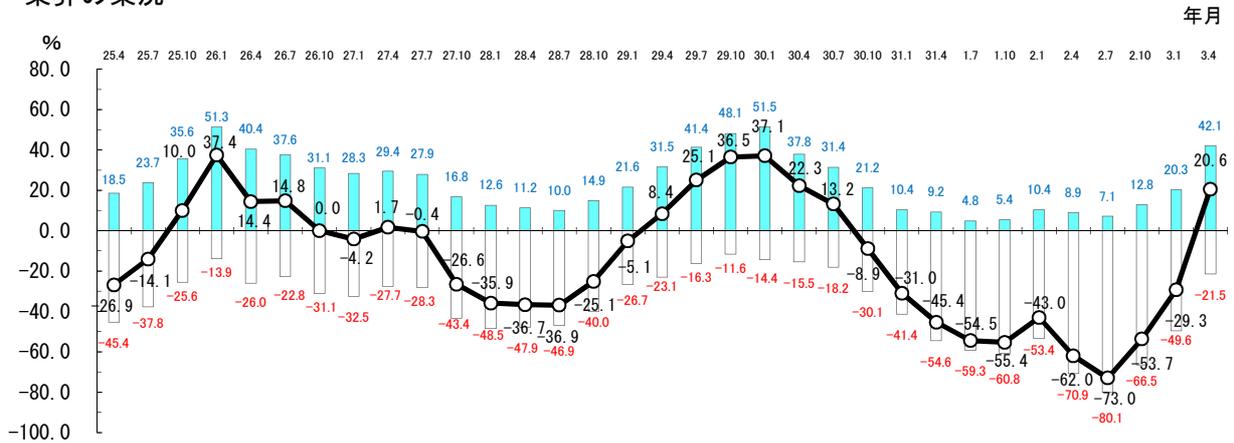
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

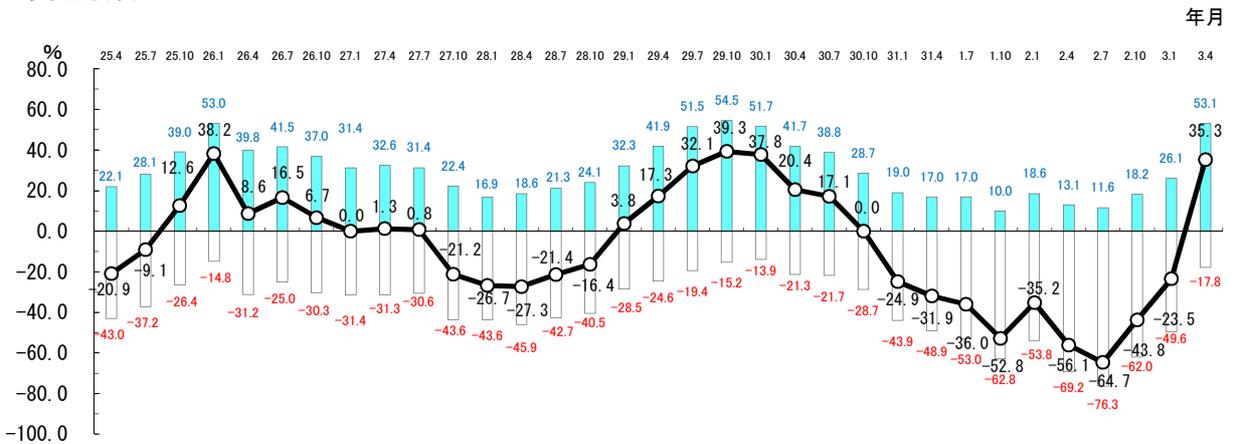
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

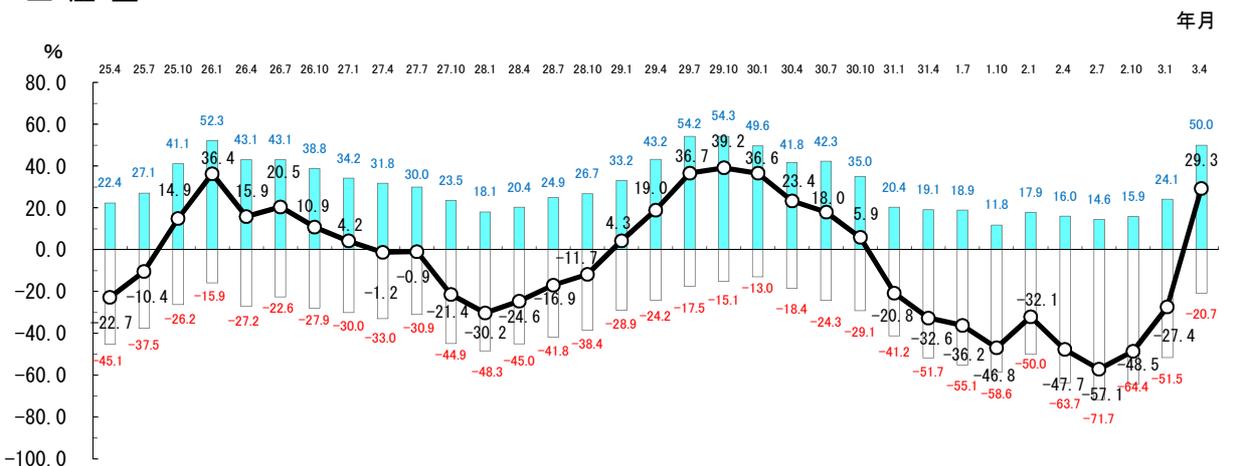
業界の業況



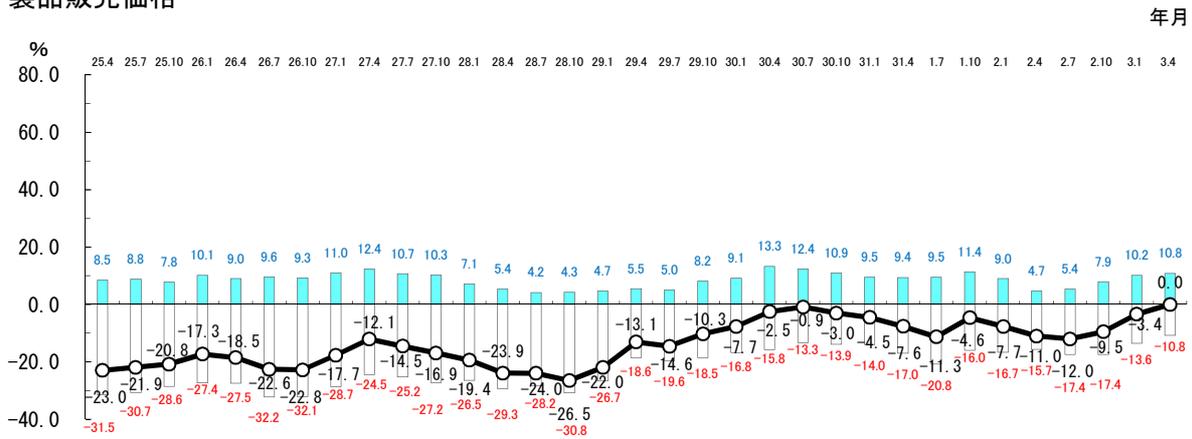
受注引合



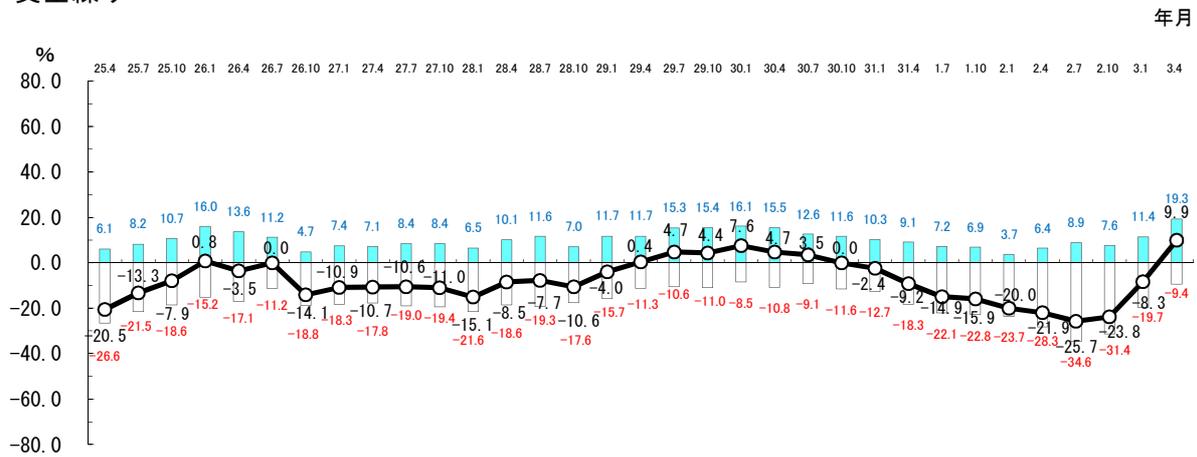
生産量



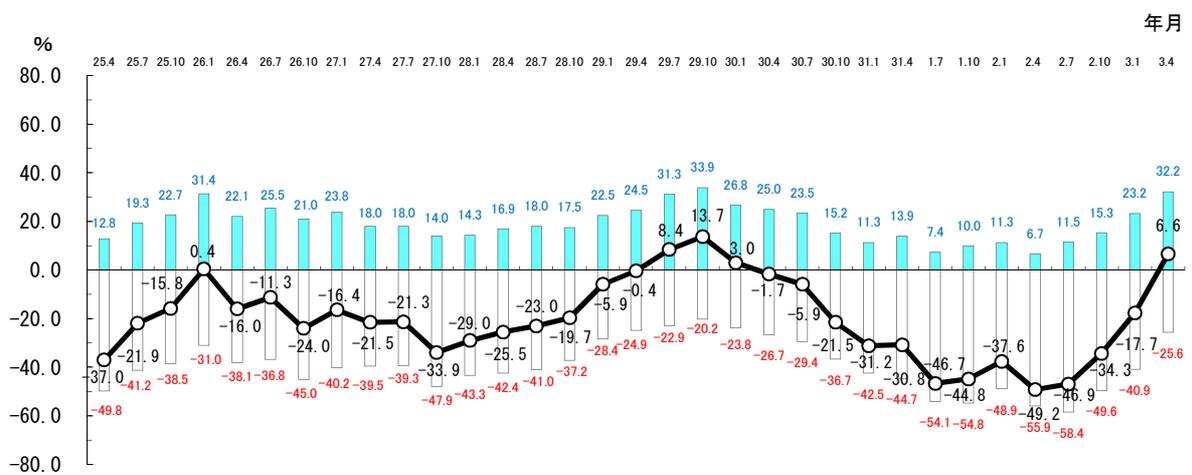
製品販売価格



資金繰り

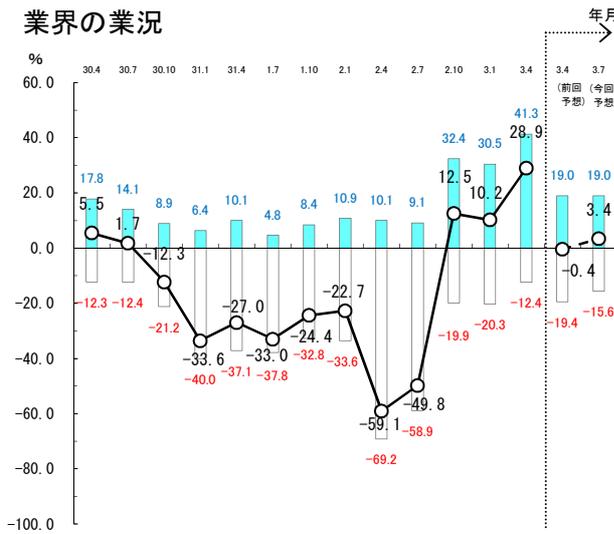


収益率

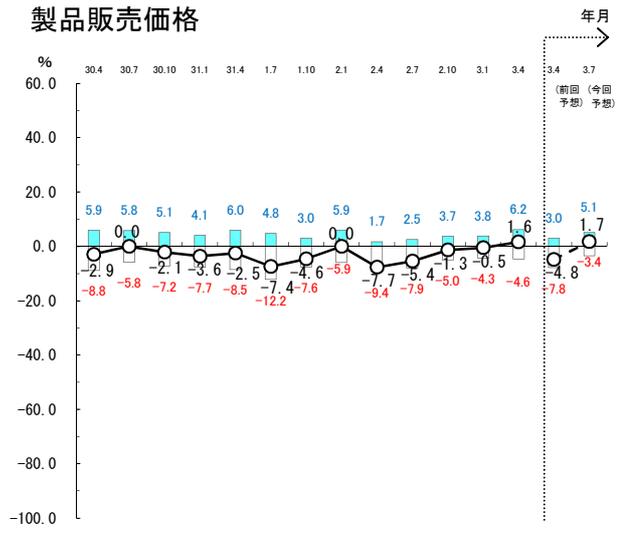


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

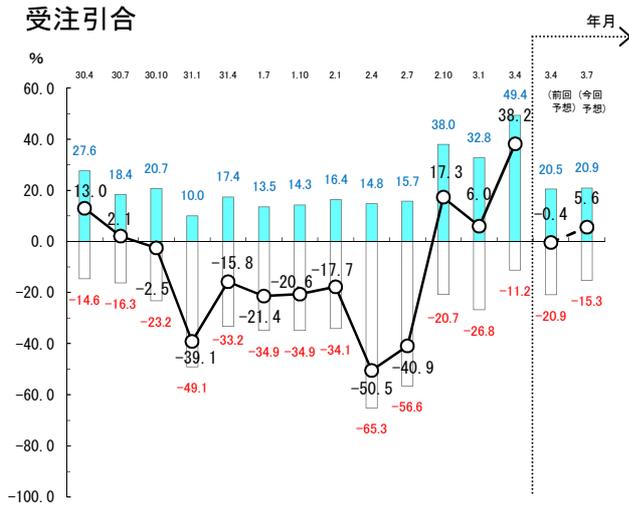
業界の業況



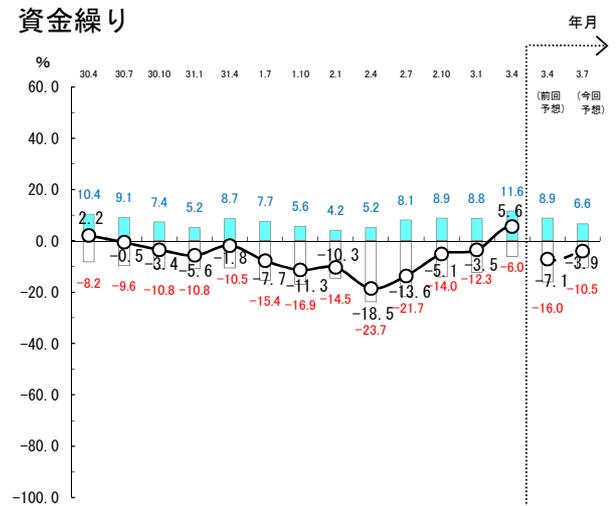
製品販売価格



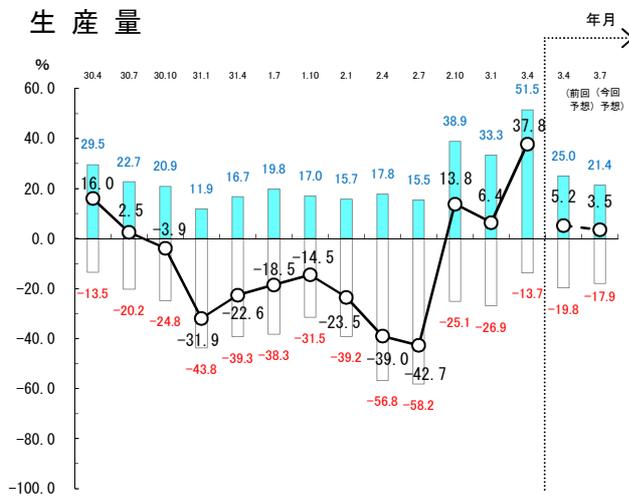
受注引合



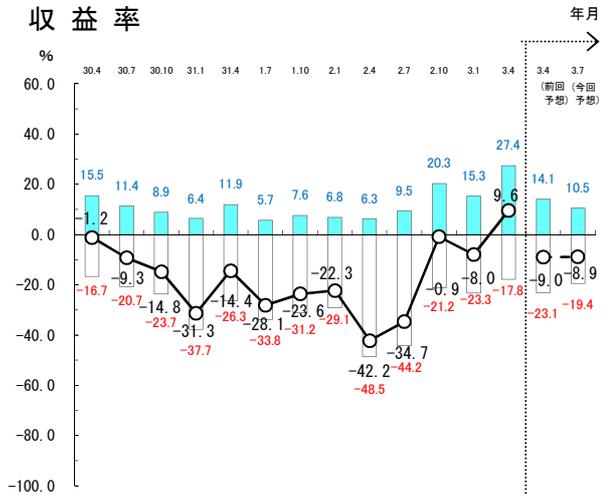
資金繰り



生産量



収益率

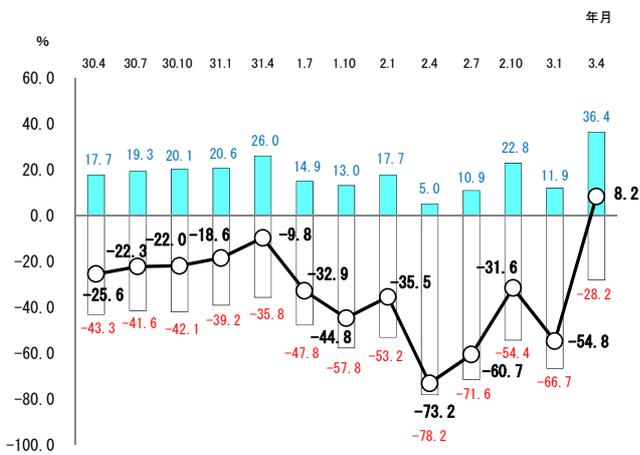


2 非製造業

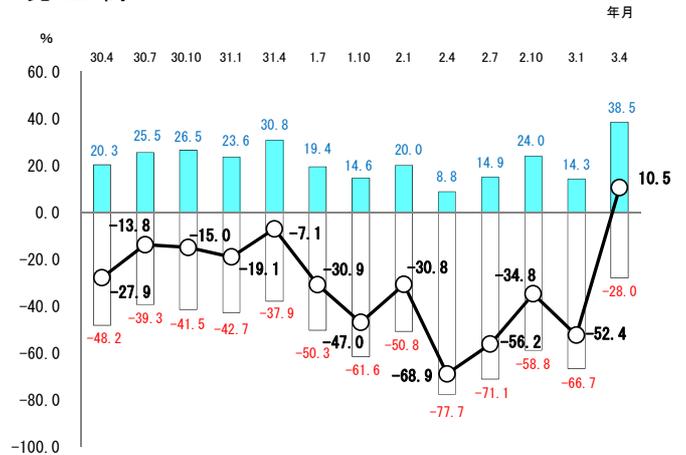
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

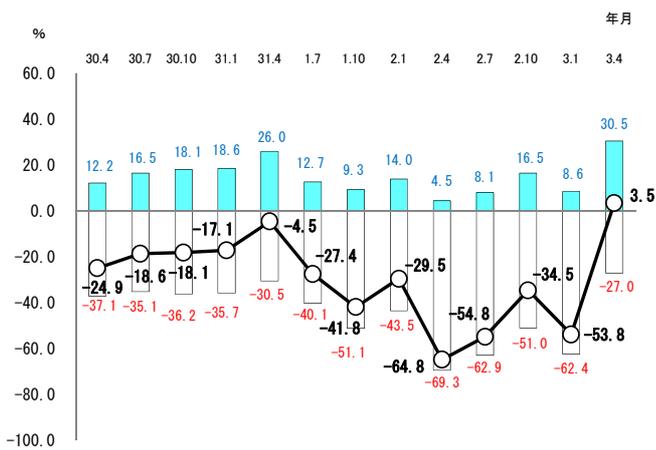
業況



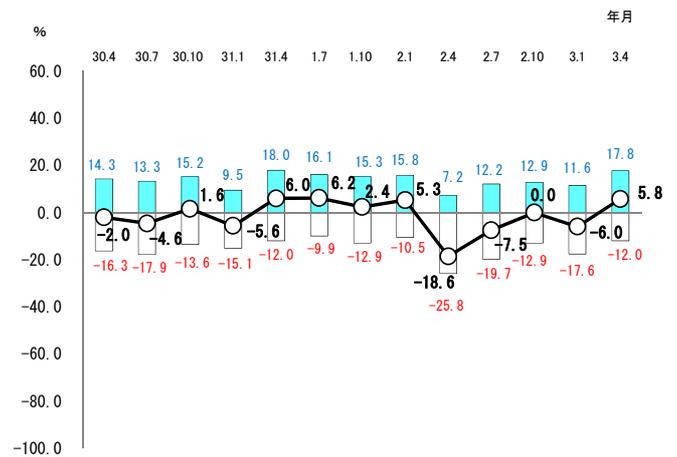
売上高



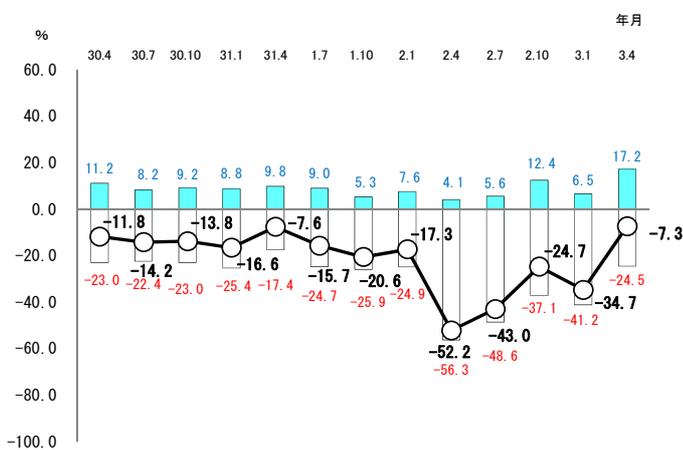
客数 (受注件数・取引先数)



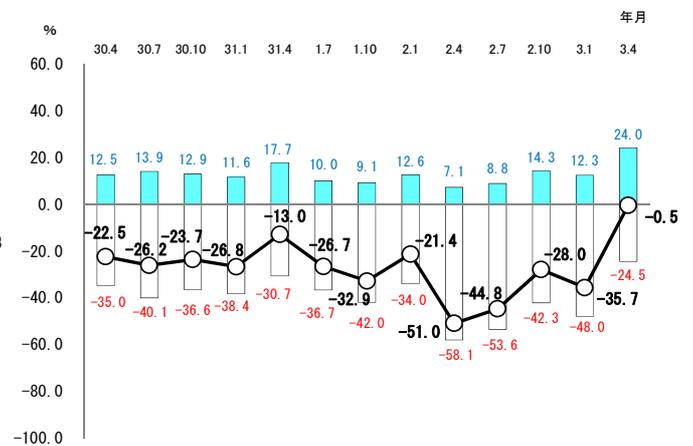
販売価格



資金繰り

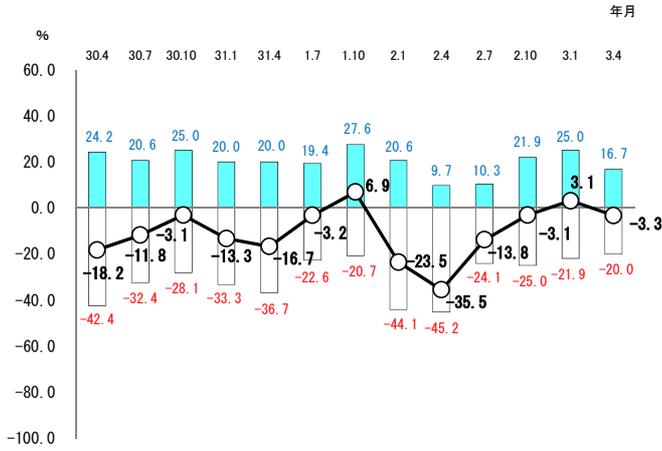


収益率

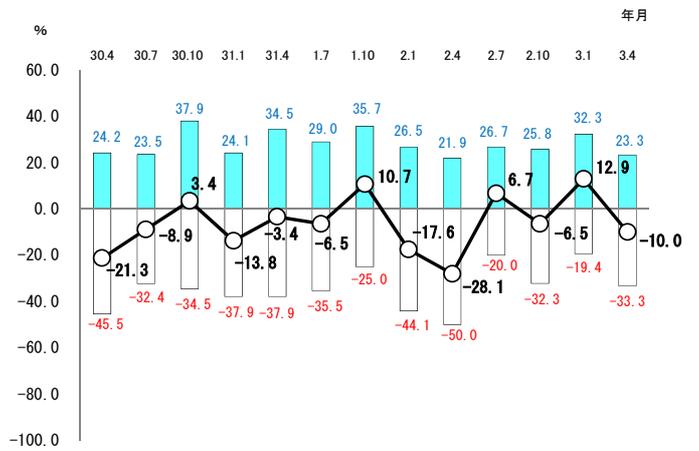


ア 建設業

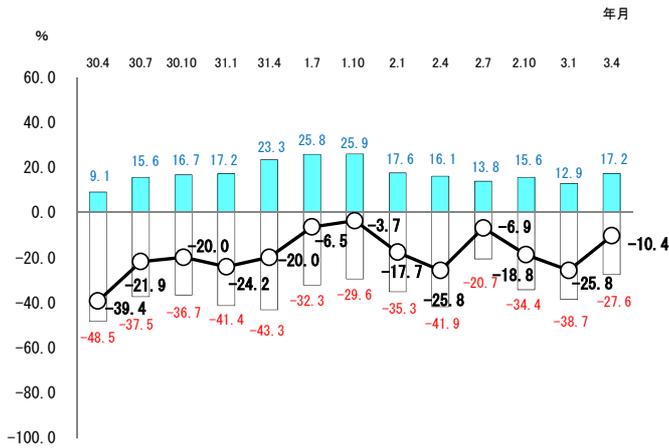
業況



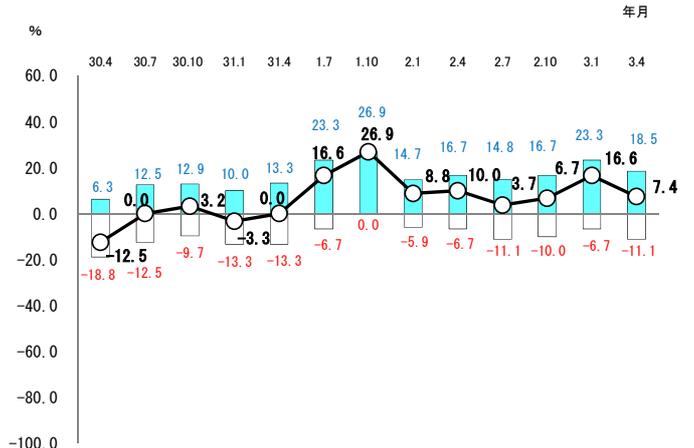
売上高



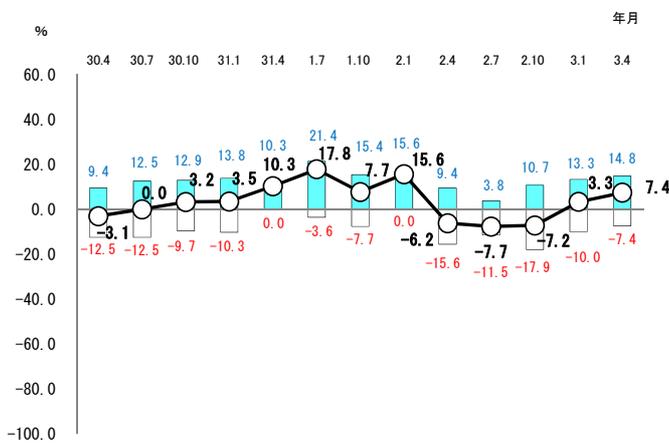
客数 (受注件数)



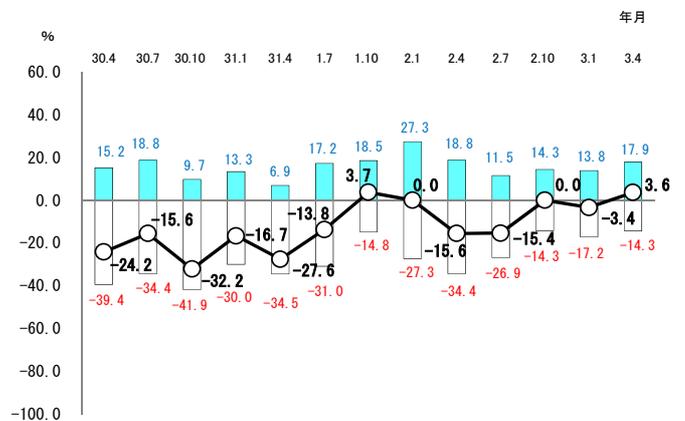
販売価格



資金繰り

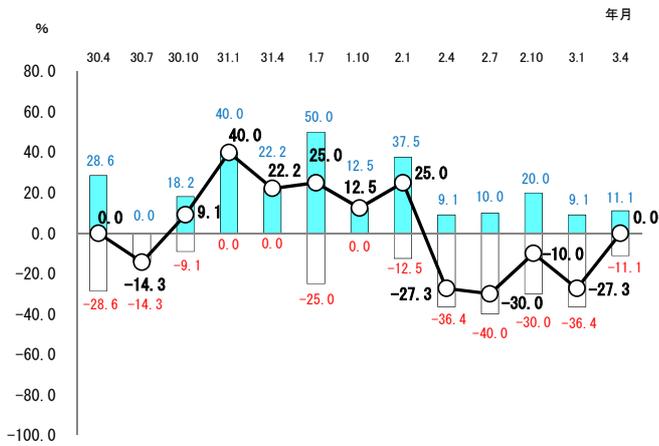


収益率

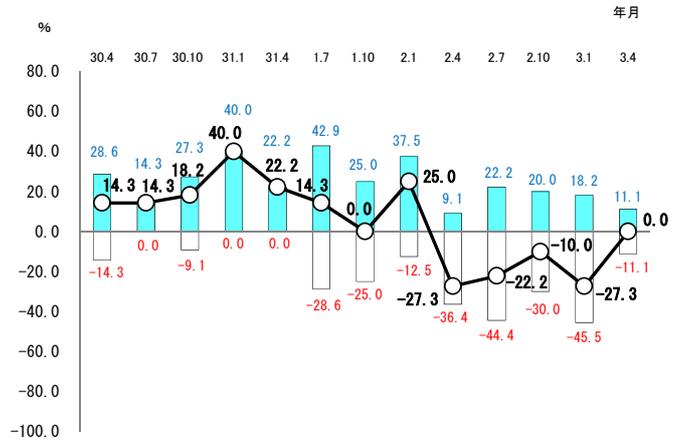


イ 情報サービス業

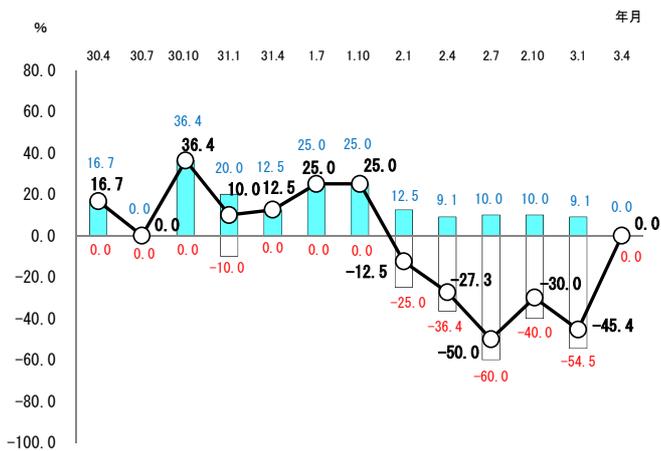
業況



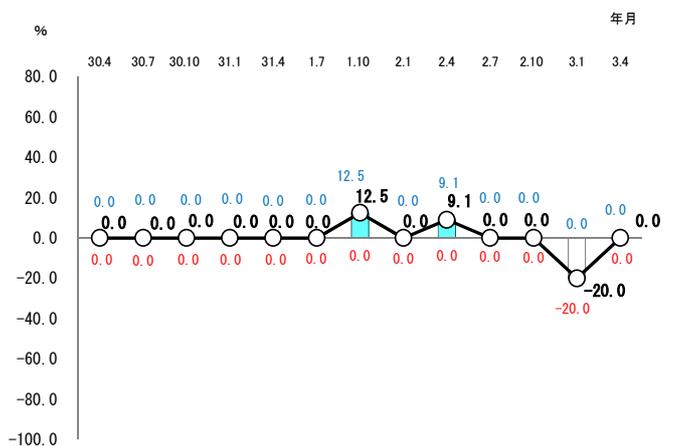
売上高



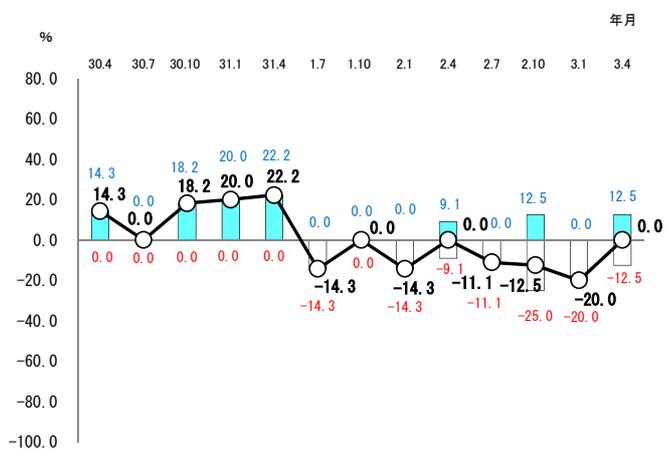
客数 (受注件数)



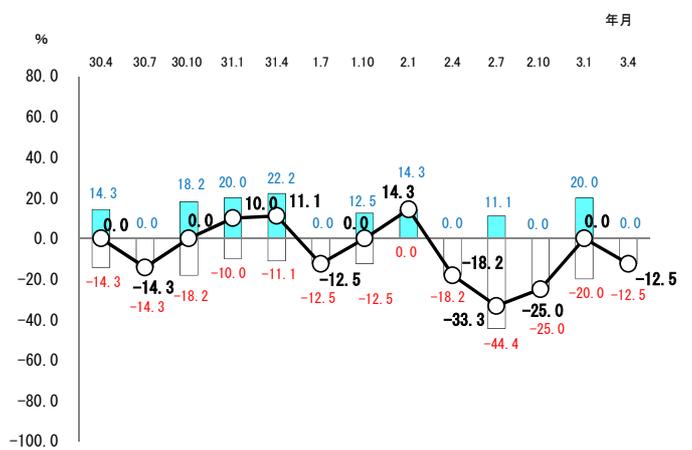
販売価格



資金繰り

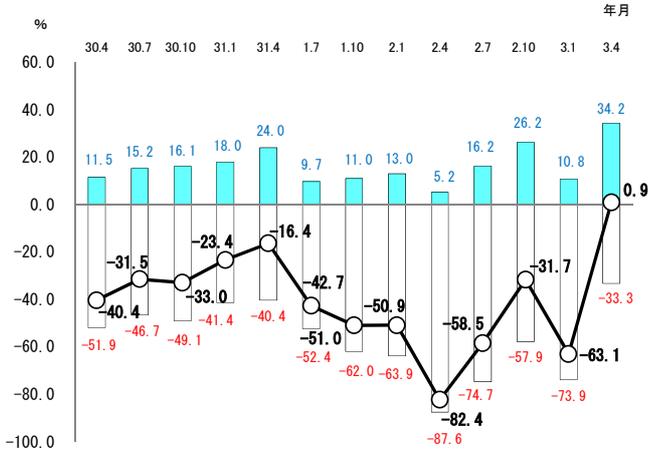


収益率

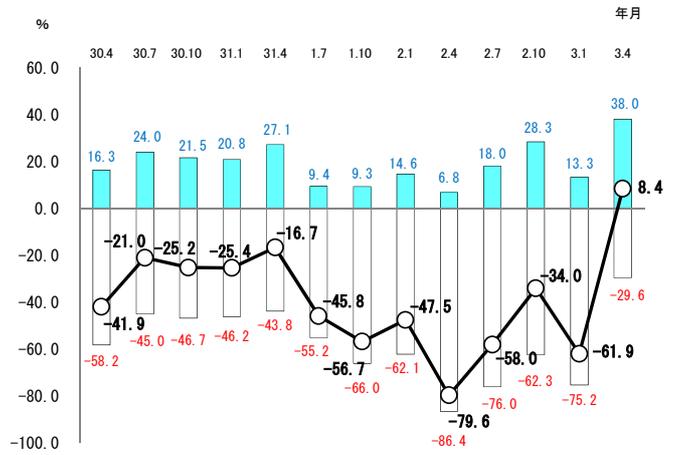


ウ 小売業

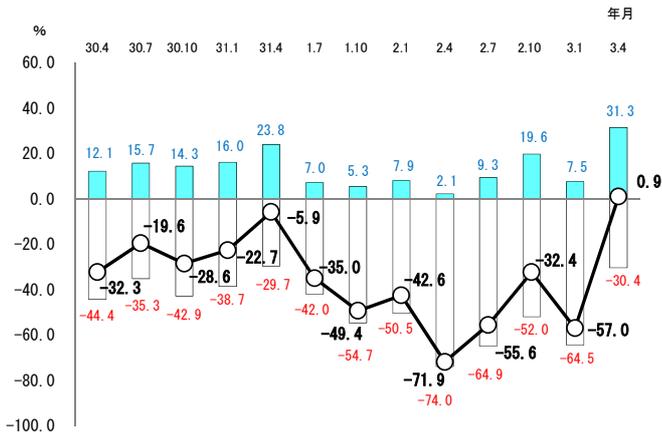
業況



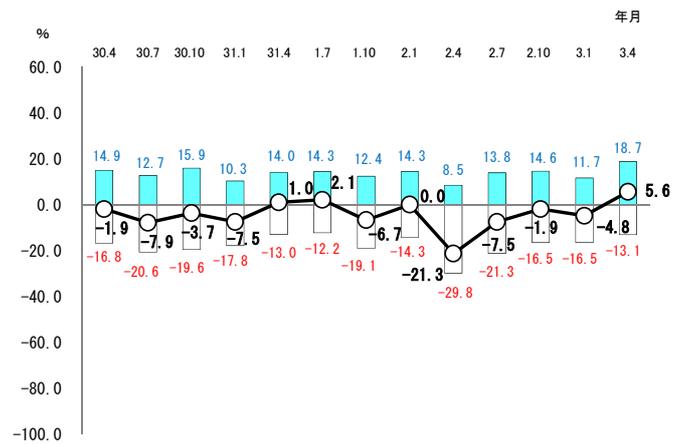
売上高



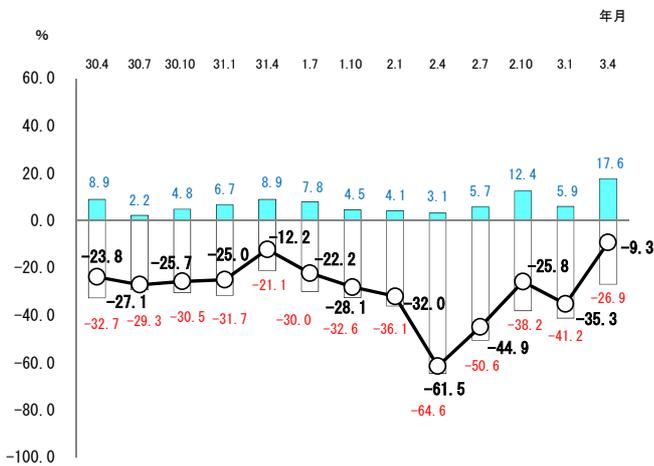
客数



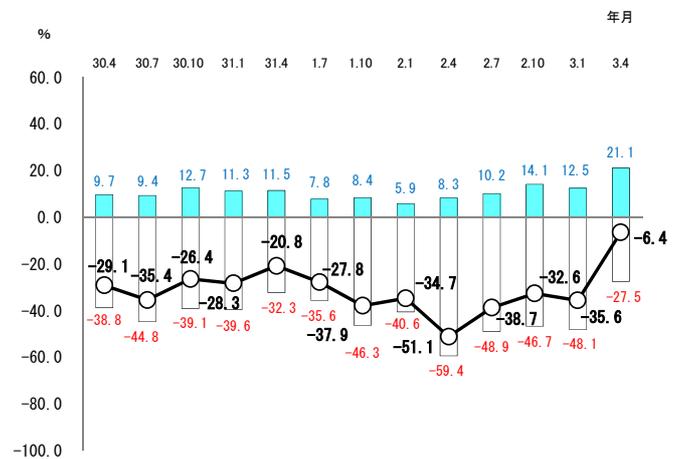
販売価格



資金繰り

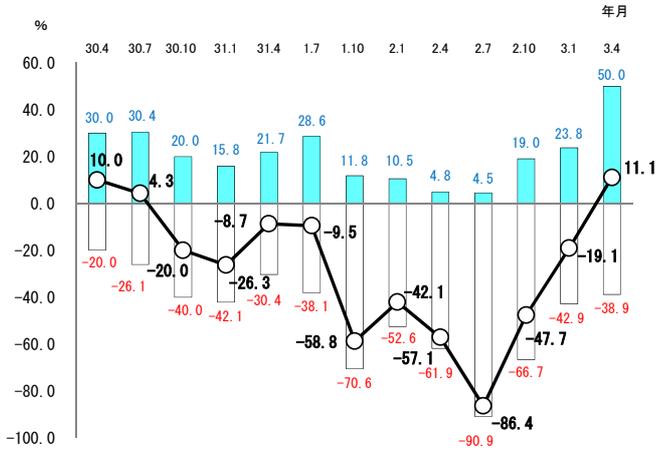


収益率

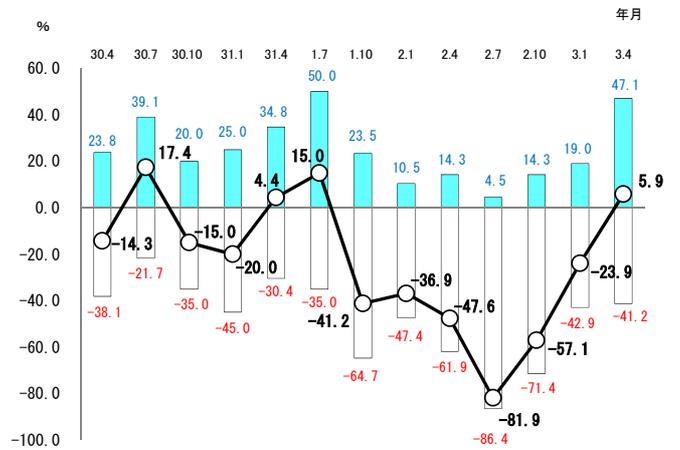


工 卸売業

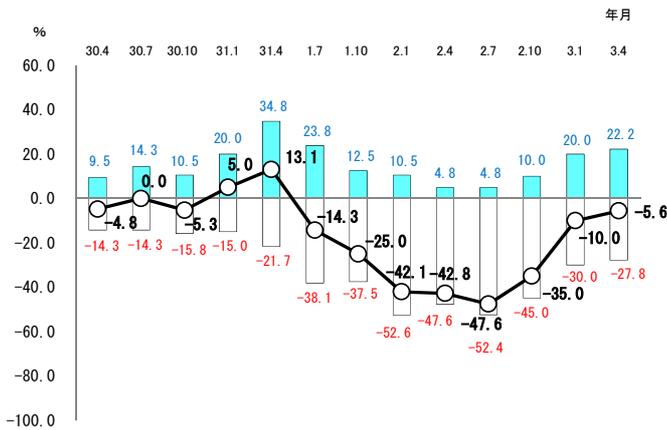
業況



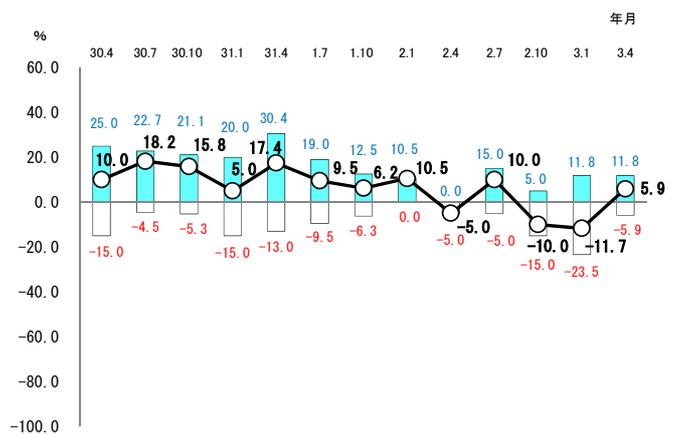
売上高



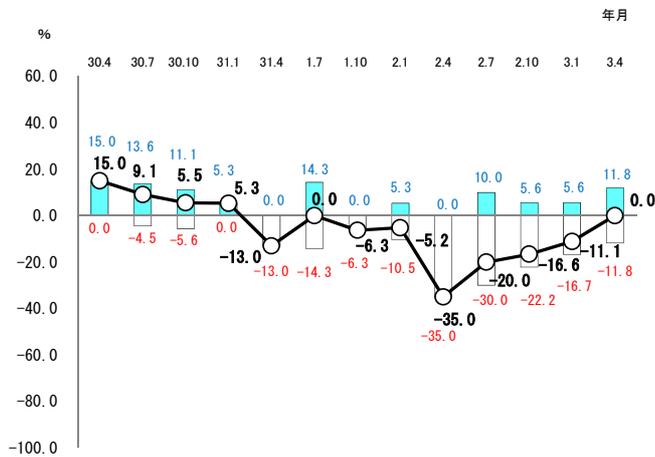
客数 (取引先数)



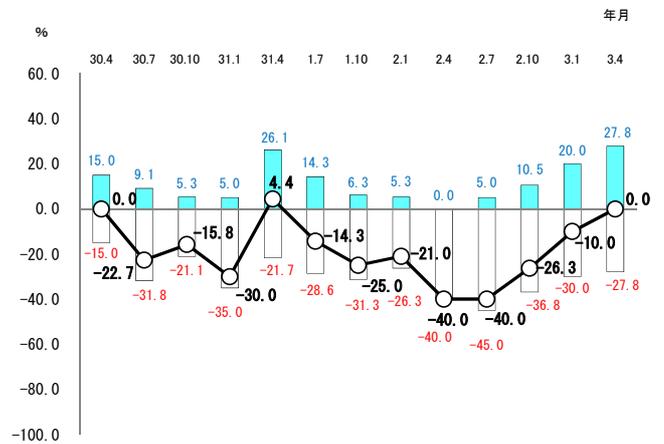
販売価格



資金繰り

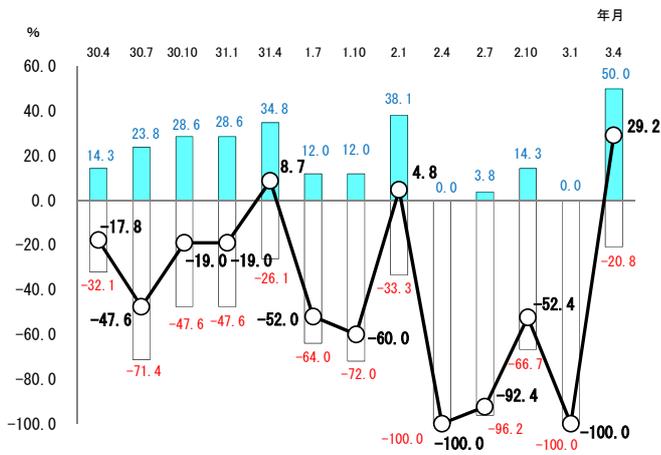


収益率

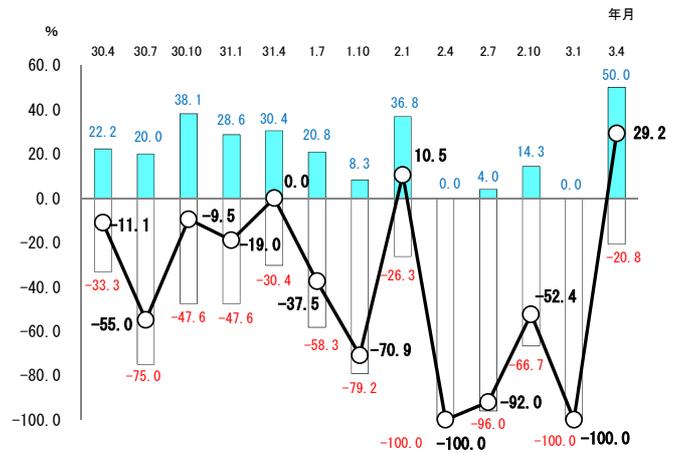


才 飲食業

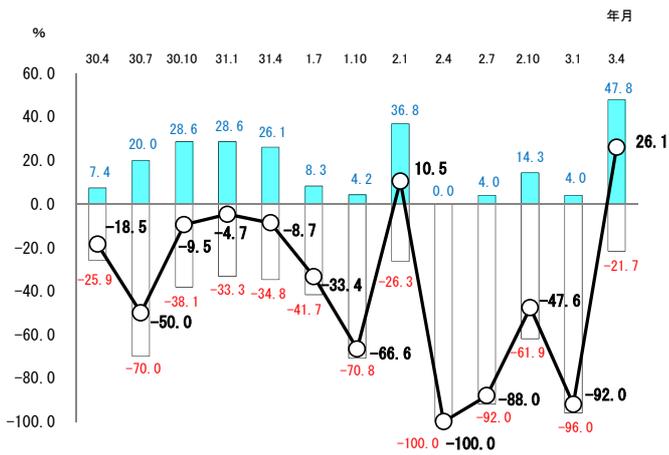
業況



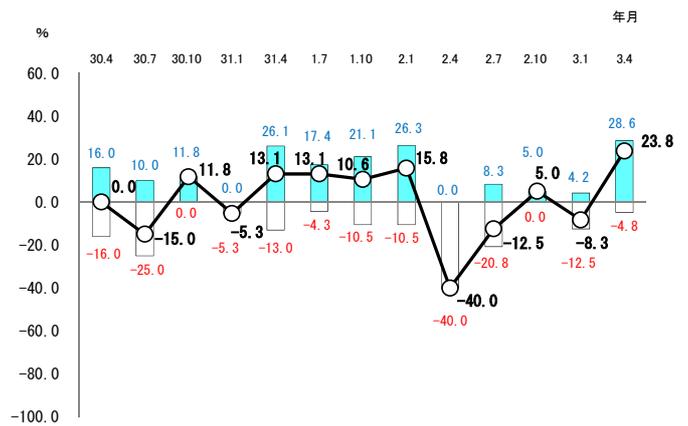
売上高



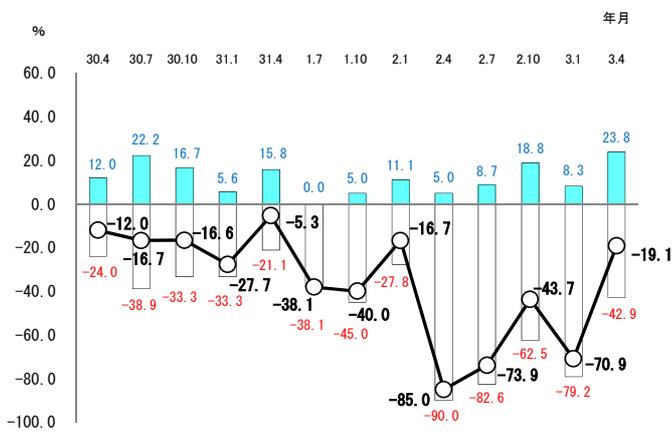
客数



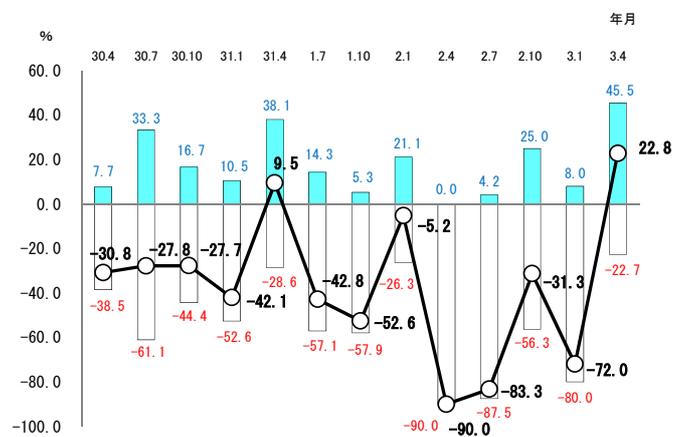
販売価格



資金繰り

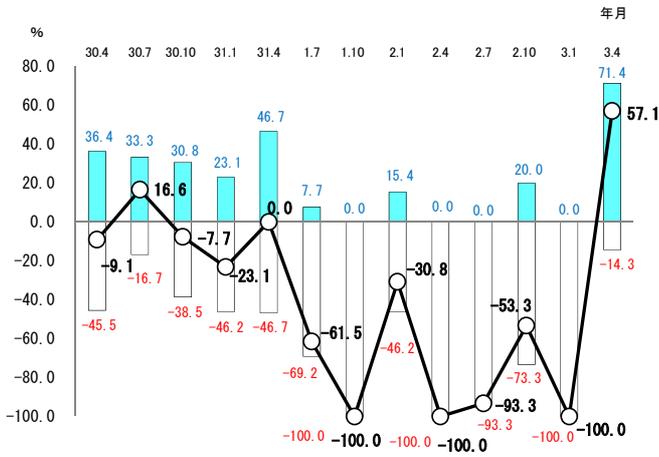


収益率

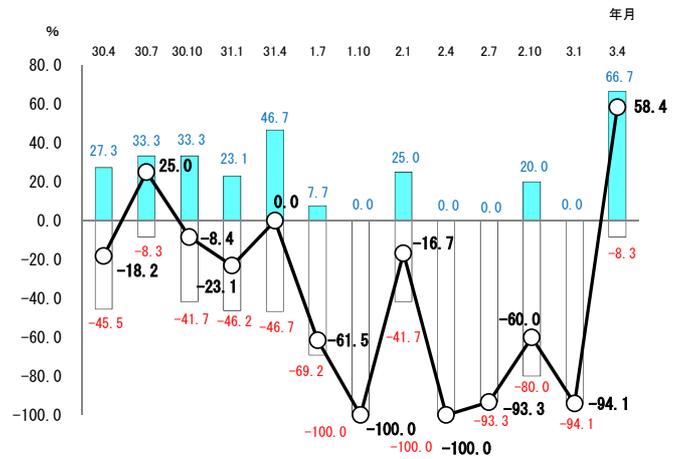


力 宿泊業

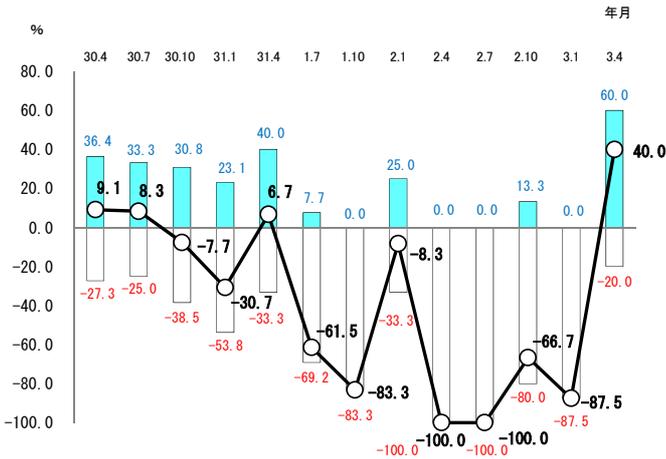
業況



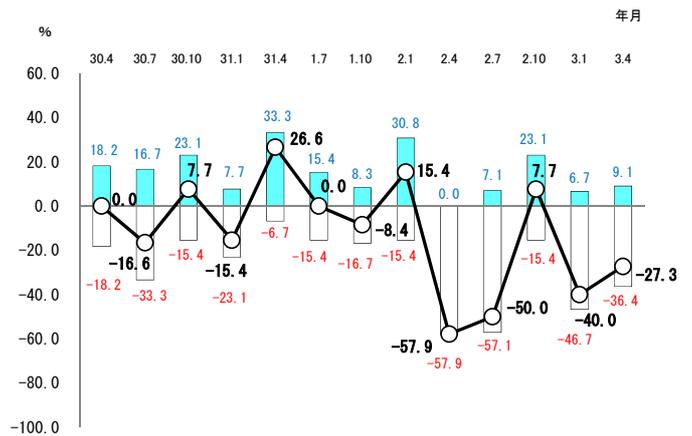
売上高



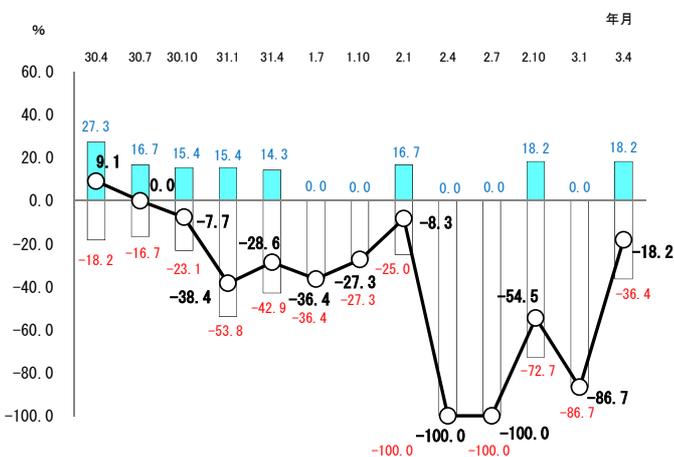
客数



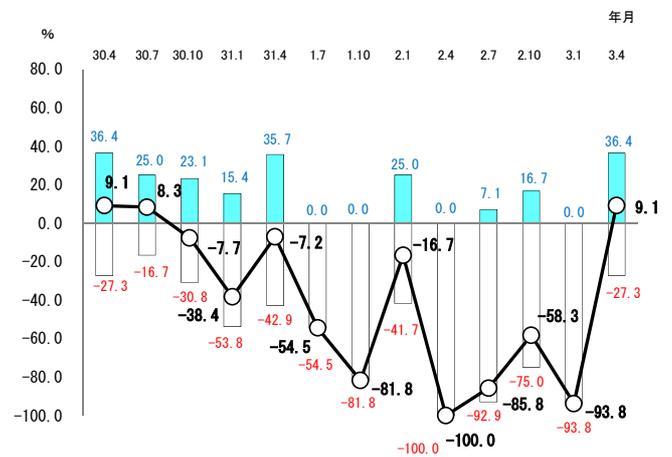
販売価格



資金繰り

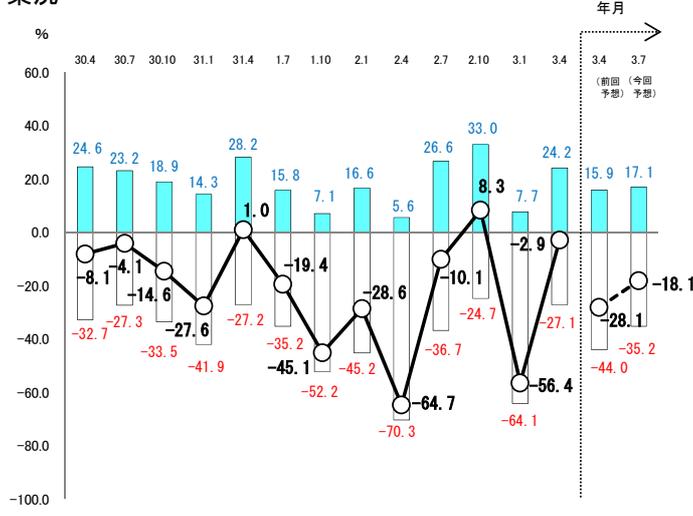


収益率

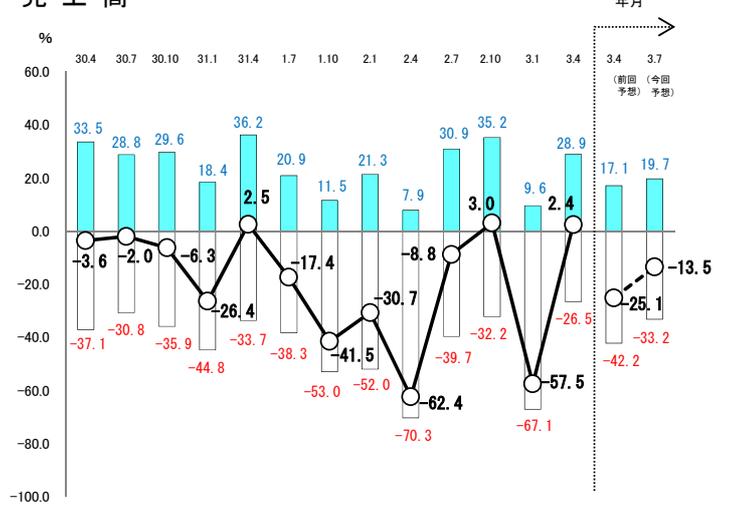


(2) 3か月前に比べて及び3か後の予想
非製造業全体

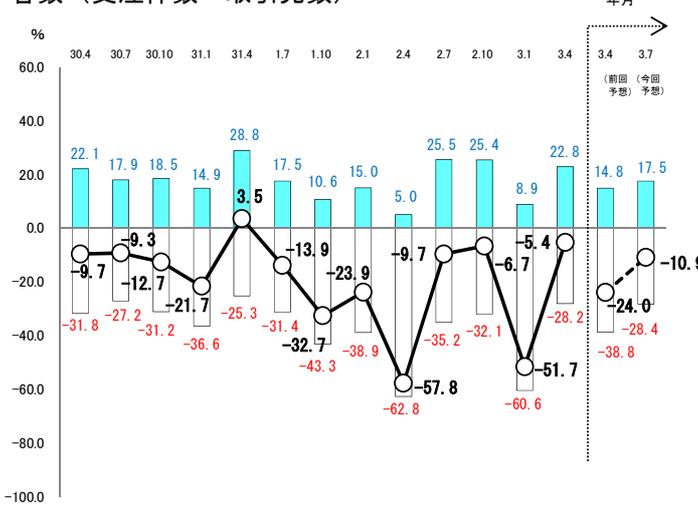
業況



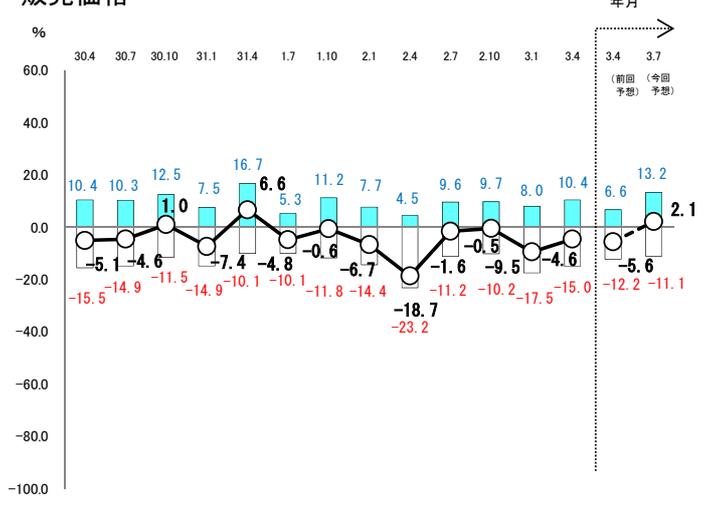
売上高



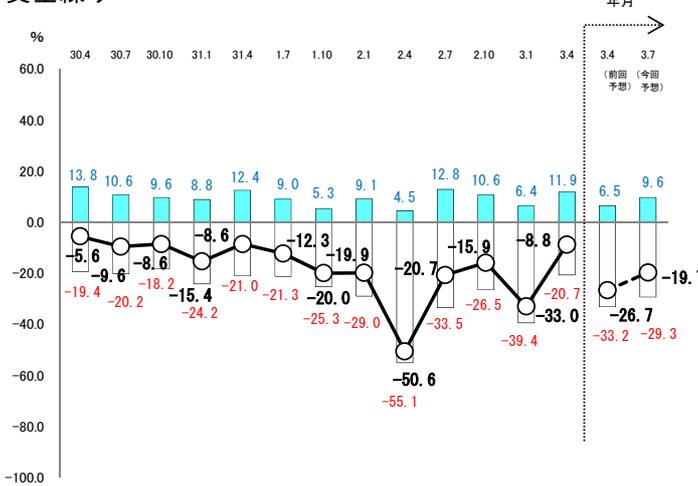
客数 (受注件数・取引先数)



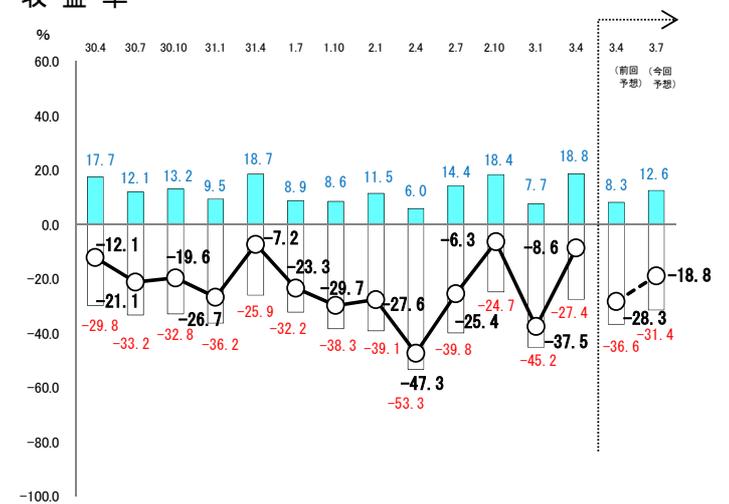
販売価格



資金繰り

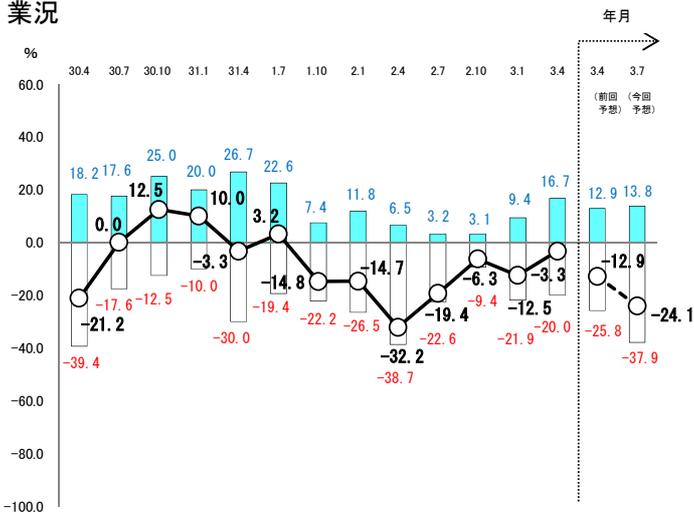


収益率

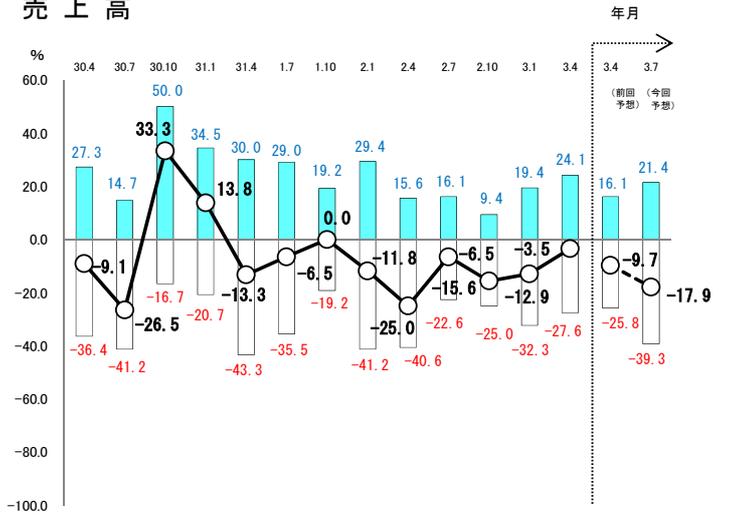


ア 建設業

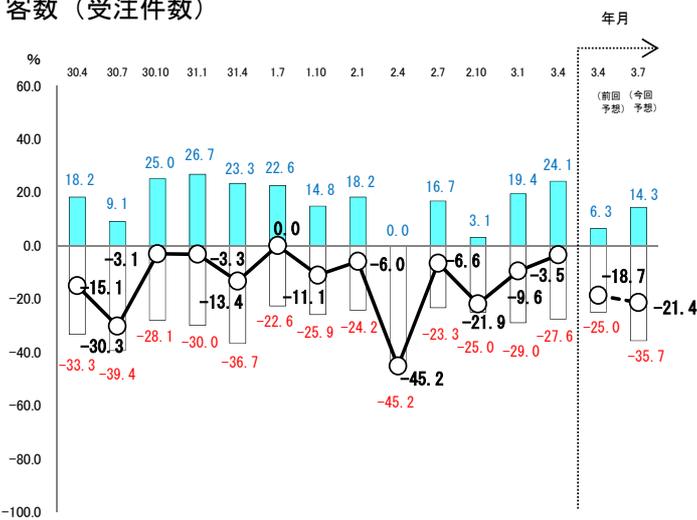
業況



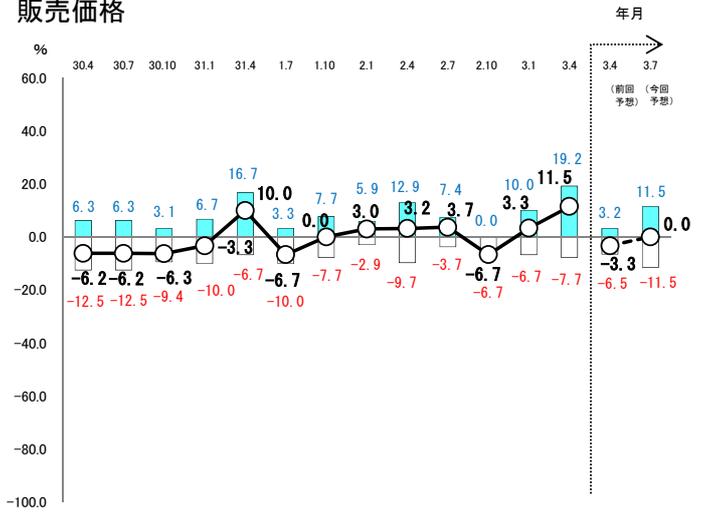
売上高



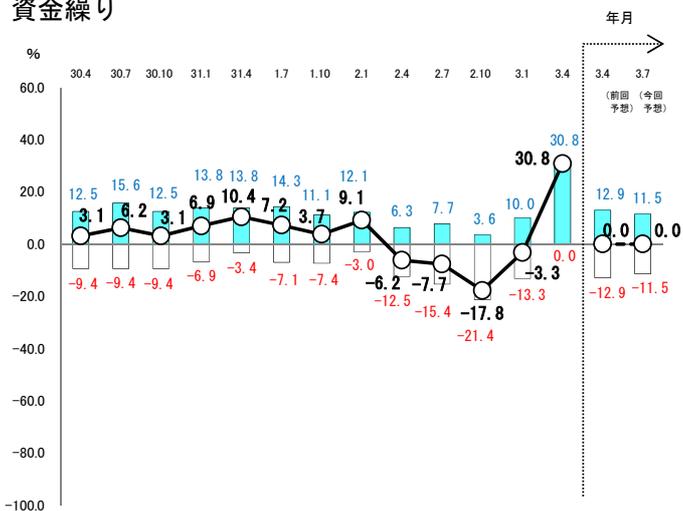
客数 (受注件数)



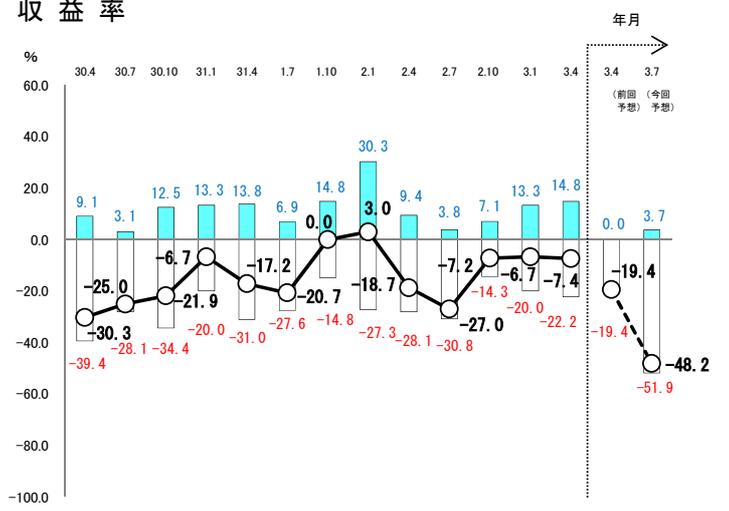
販売価格



資金繰り

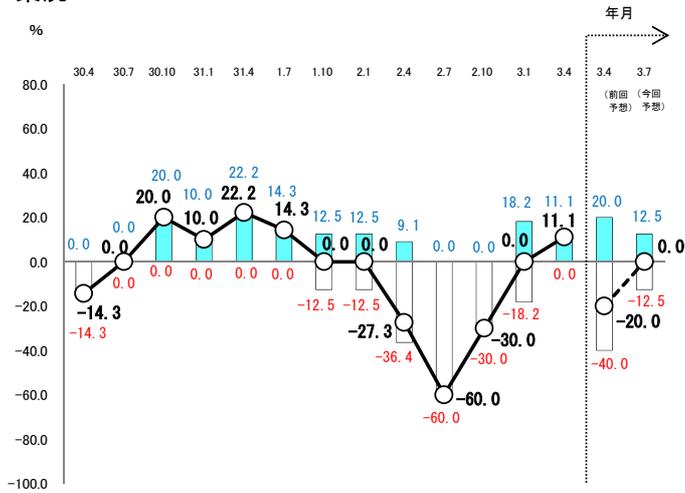


収益率

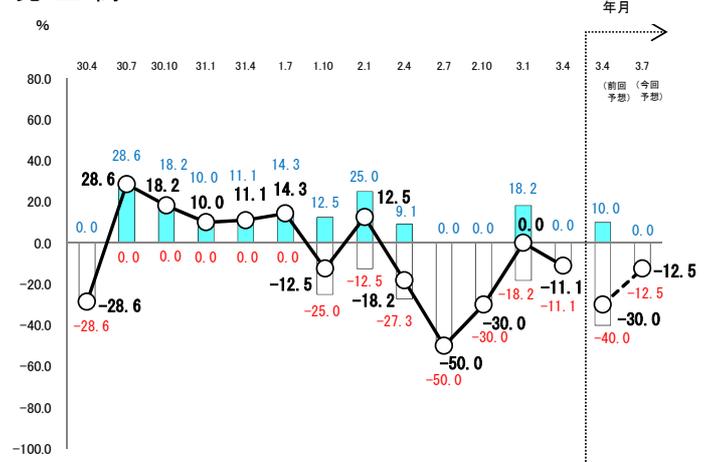


イ 情報サービス業

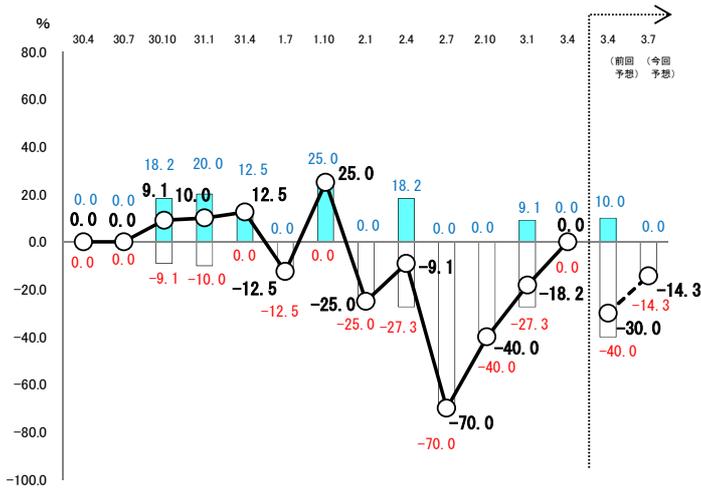
業況



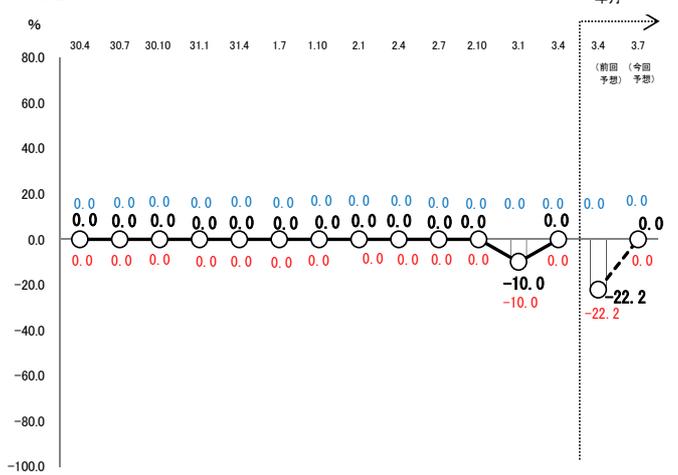
売上高



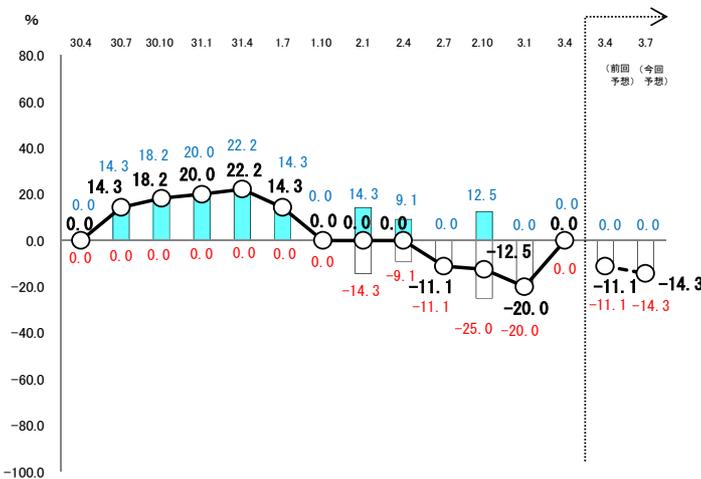
客数 (受注件数)



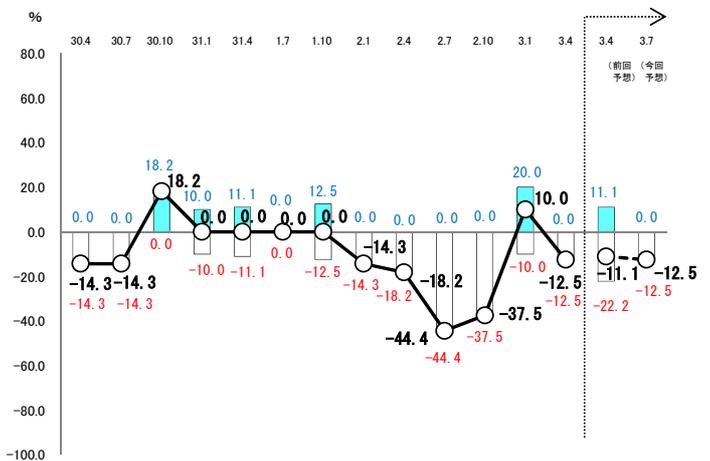
販売価格



資金繰り

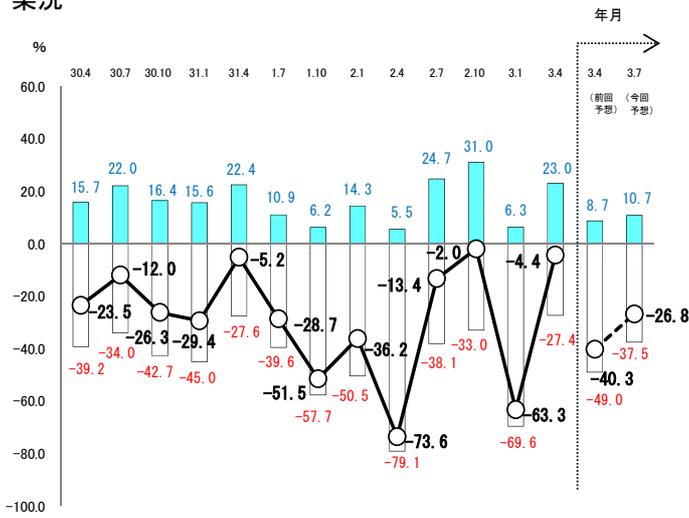


収益率

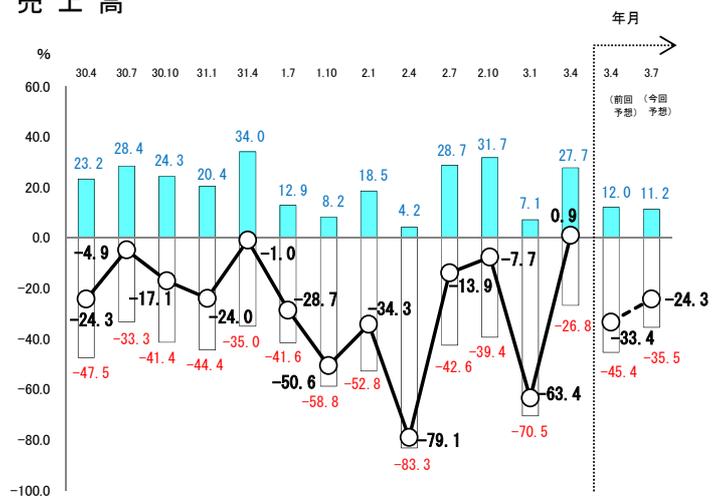


ウ 小売業

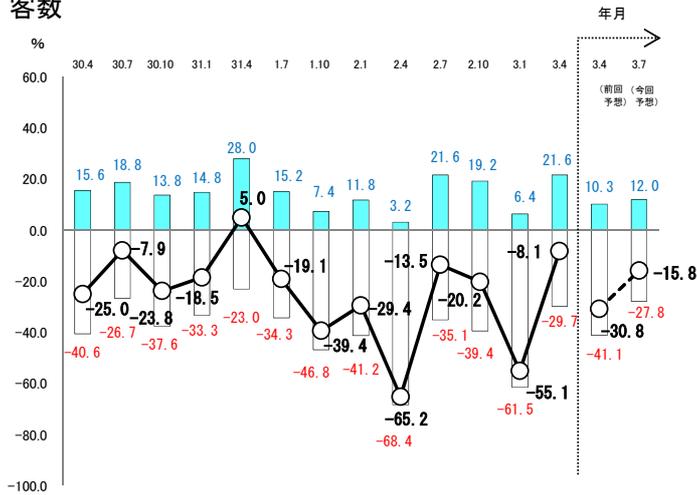
業況



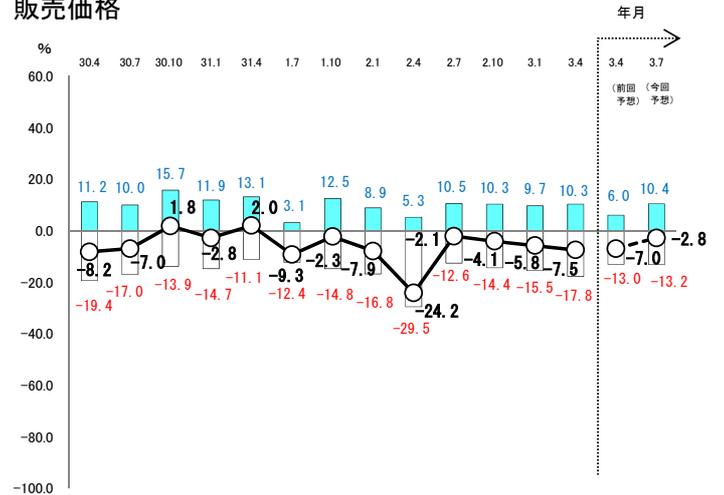
売上高



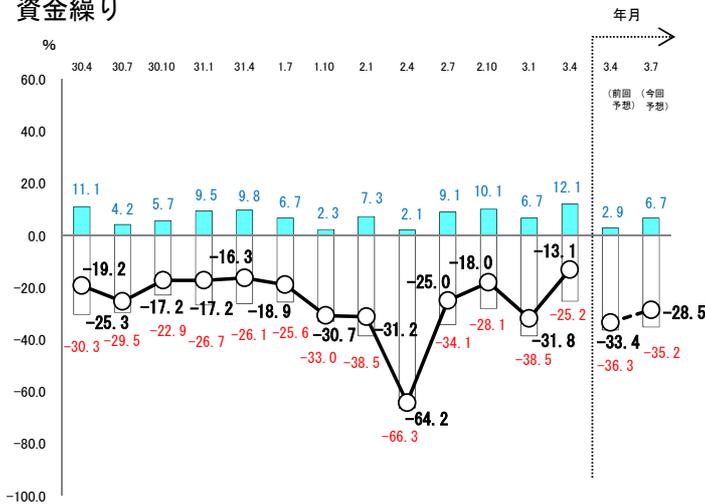
客数



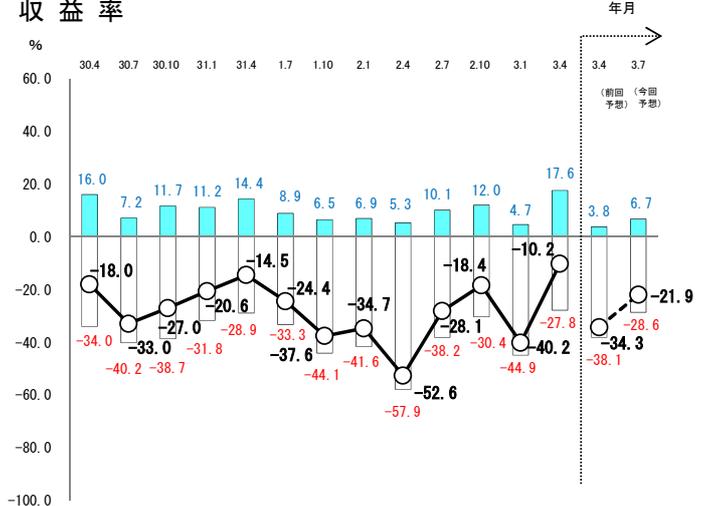
販売価格



資金繰り

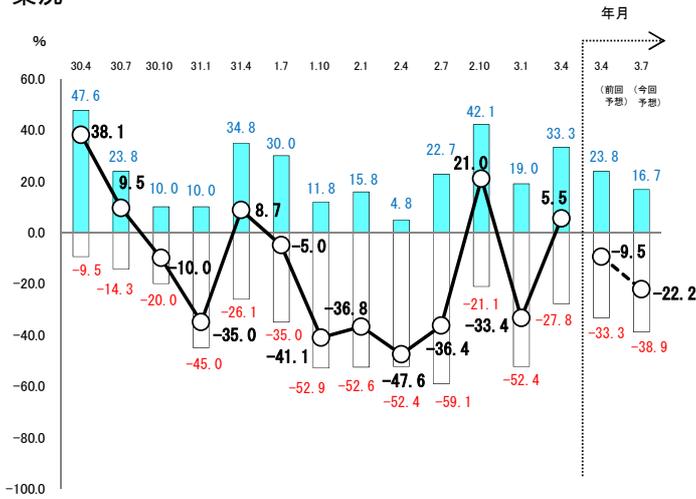


収益率

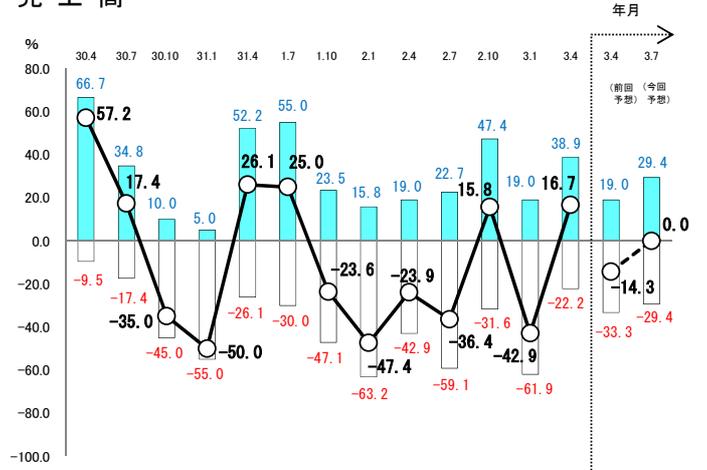


工 卸売業

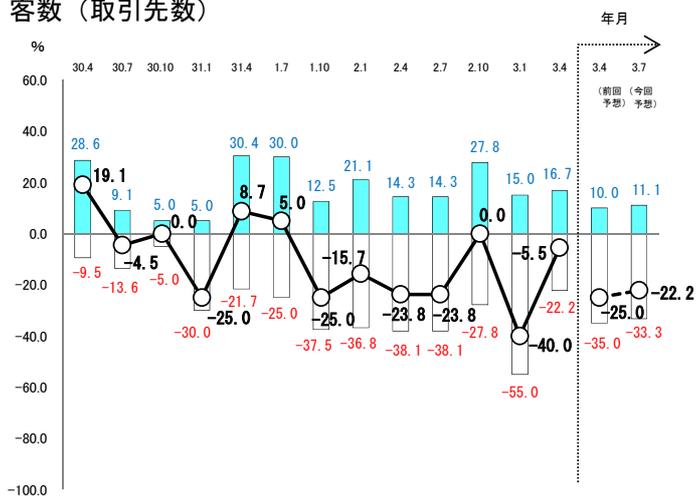
業況



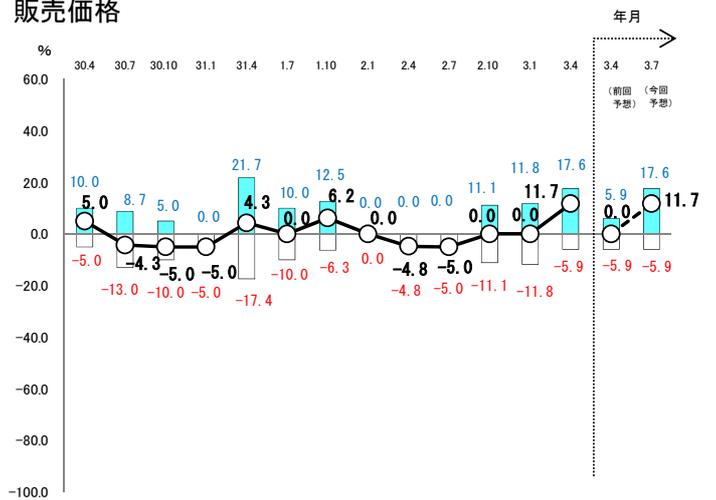
売上高



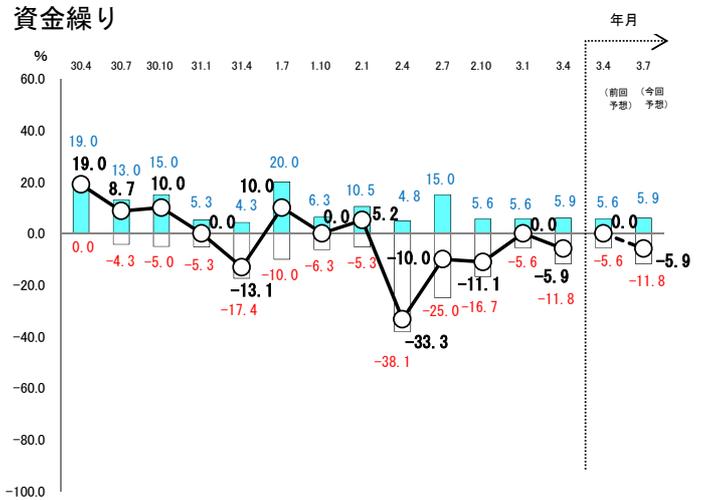
客数 (取引先数)



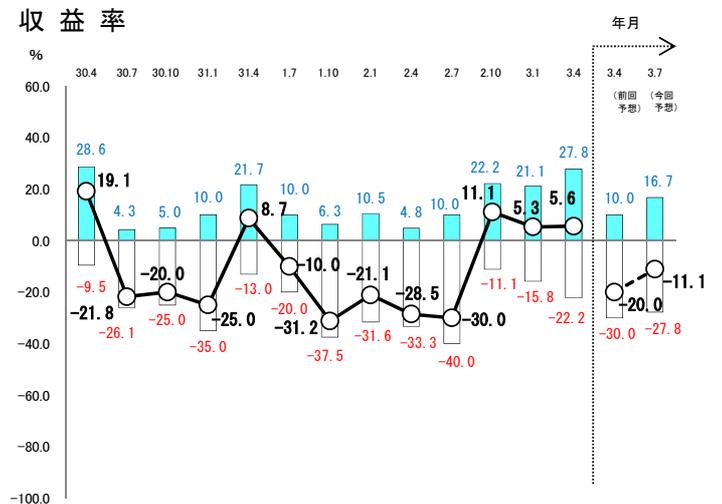
販売価格



資金繰り

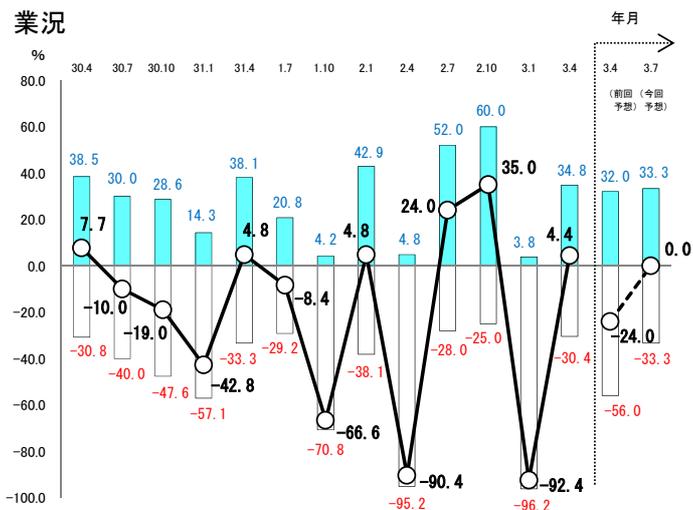


収益率

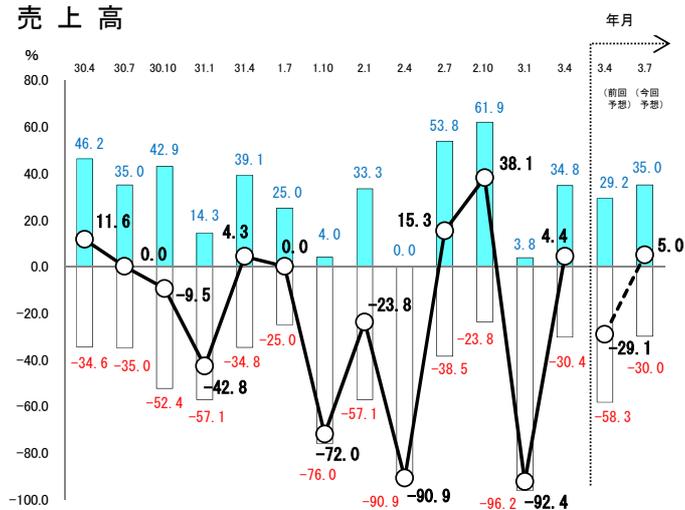


才 飲食業

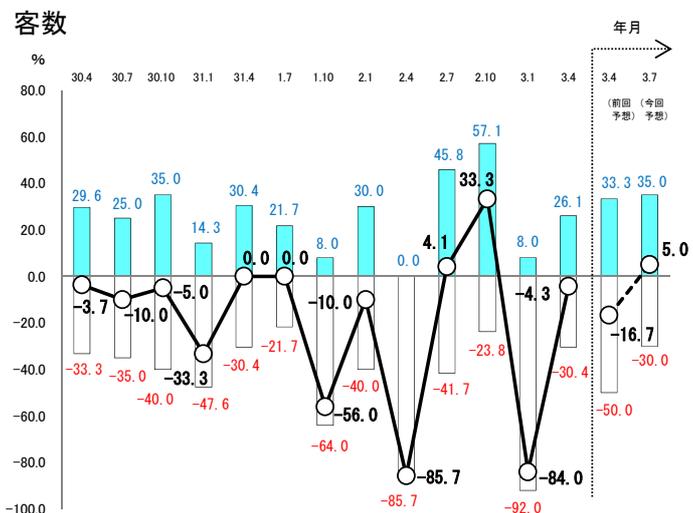
業況



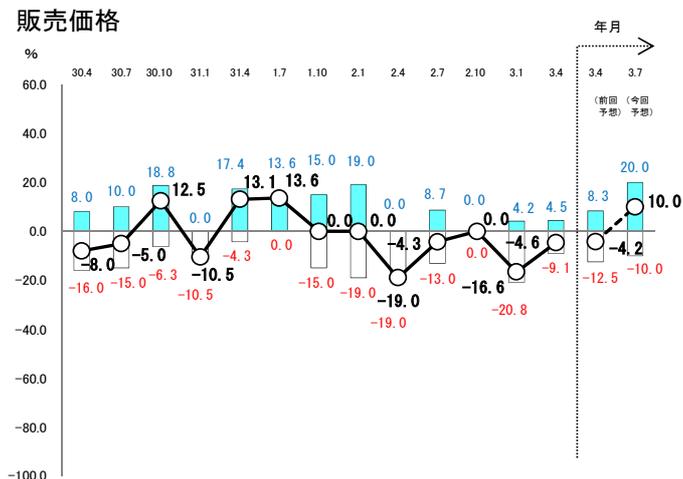
売上高



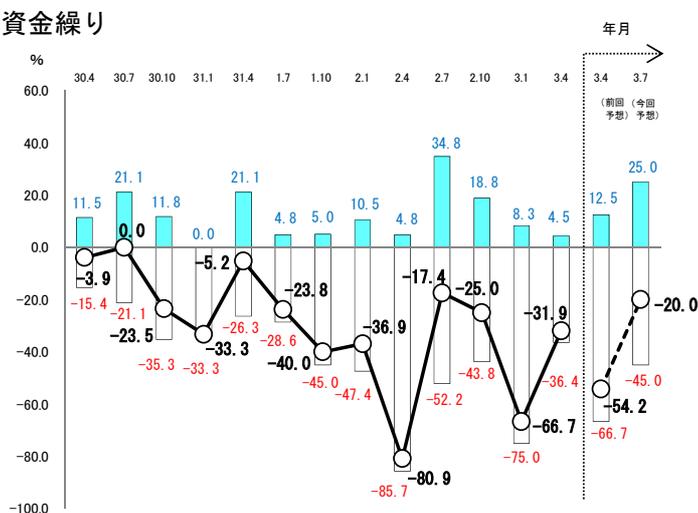
客数



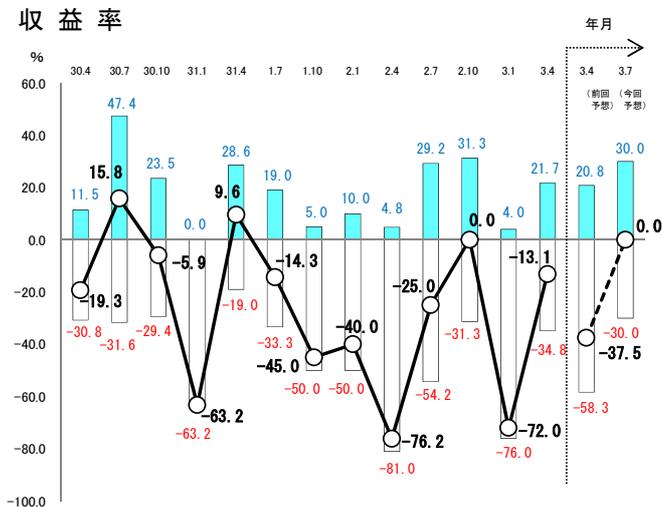
販売価格



資金繰り

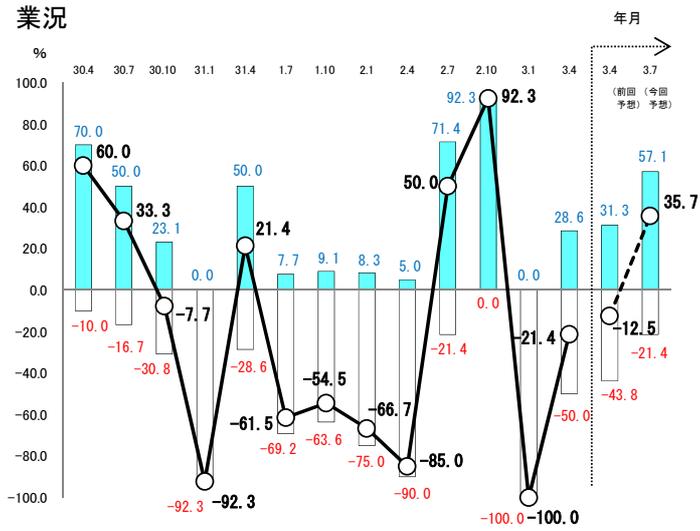


収益率

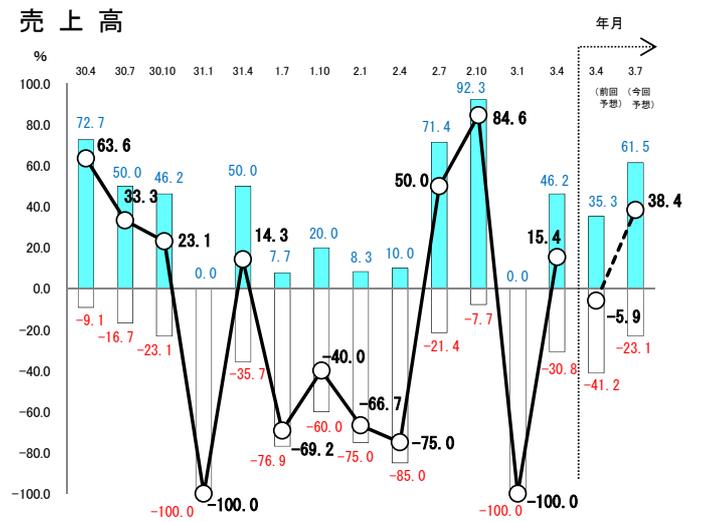


力 宿泊業

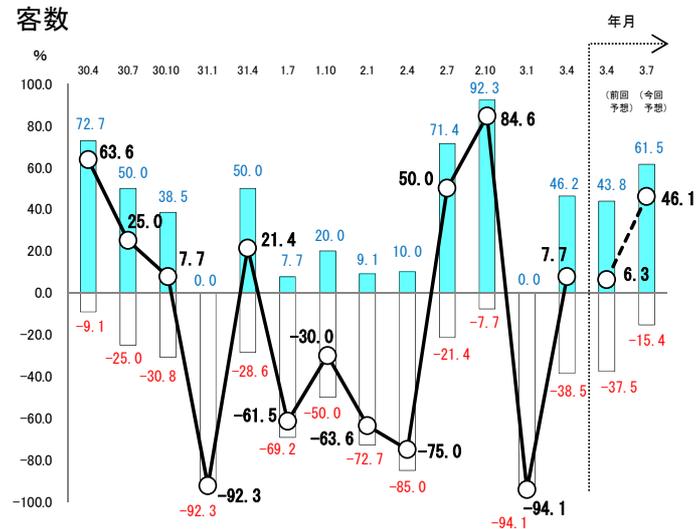
業況



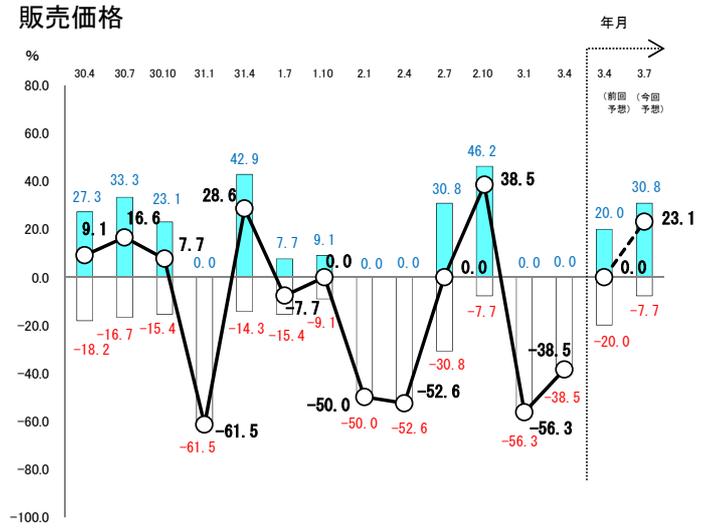
売上高



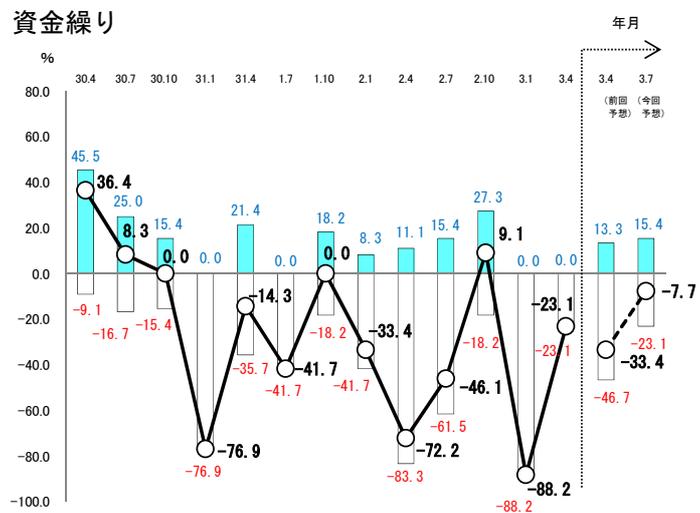
客数



販売価格



資金繰り



収益率

